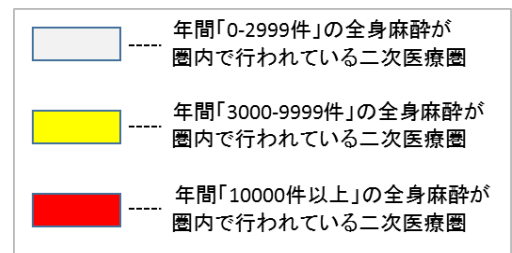
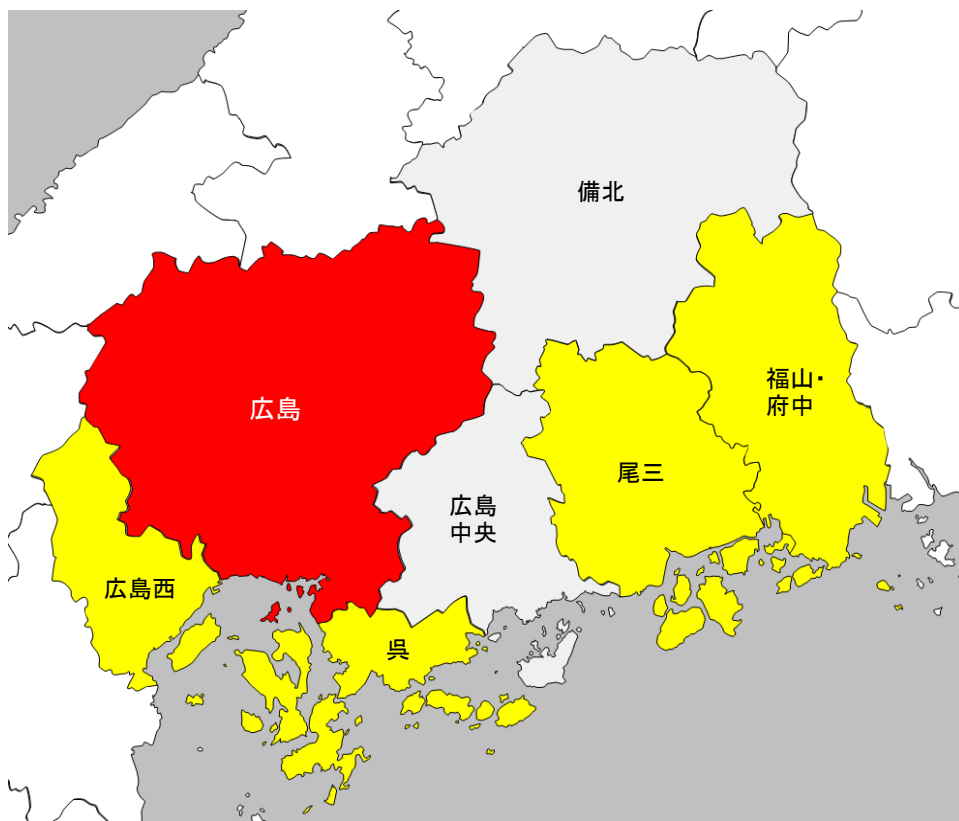


34. 広島県

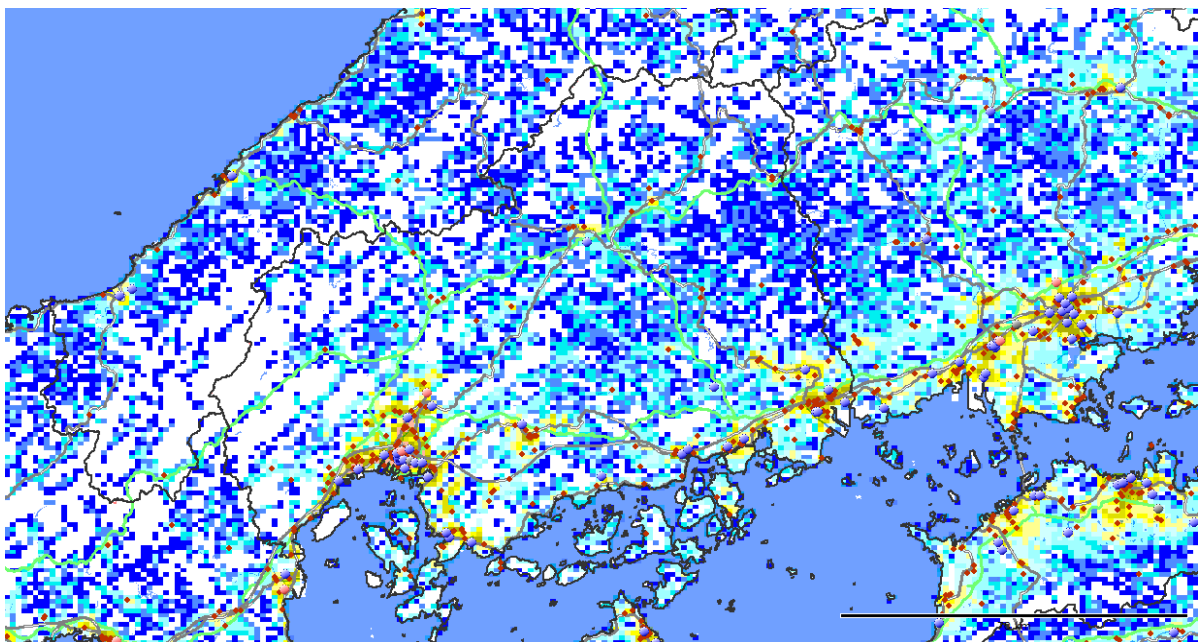


目次

広島県	34	-	3
資料編 一 当県ならびに二次医療圏別資料	34	-	8
1. 広島医療圏	34	-	20
2. 広島西医療圏	34	-	25
3. 呉医療圏	34	-	30
4. 広島中央医療圏	34	-	35
5. 尾三医療圏	34	-	40
6. 福山・府中医療圏	34	-	45
7. 備北医療圏	34	-	50

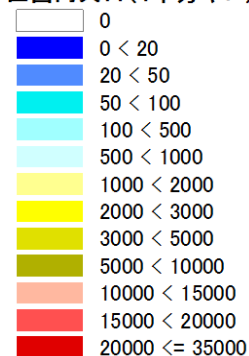
34. 広島県

人口分布 (1km²区画単位)



1km²区画 (1km²メッシュ) で分割した各区画内の居住人口。
赤色系統は人口が多く (10,000人/km²以上)、黄色系統は
中間レベル (1,000~10,000人/km²)、青色系統は人口が
少ない (1,000人/km²未満)。白色は非居住地。
出所：国勢調査 (平成22年、総務省) 地図情報GIS
Market Analyzer ver. 3.7 地図 PAREAシリーズ

区画内人口 (1平方キロ)



DPC病院



(広島県) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 広島県は、総人口約2,844千人(2015年)、面積8,479km²、人口密度は335人/km²である。

*人口の将来予測： 広島県の総人口は2025年に2,758千人へと減少し(2015年比-3%)、2040年に2,521千人へと減少する(2025年比-9%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の376千人が、2025年にかけて507千人へと増加し(2015年比+35%)、2040年には497千人へと減少する(2025年比-2%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 広島県の一人当たり医療費(国保)は402千円(偏差値60)、介護給付費は267千円(偏差値54)であり、医療費は高く、介護給付費はやや高い。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 広島県の一人当たり急性期医療密度指数は1.08、一人当たり慢性期医療密度指数は1.4で、急性期の医療は全国平均レベルであるが、慢性期の医療は充実している。

*医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が51(病院医師数49、診療所医師数56)と、総医師数はほぼ全国平均レベルであるが、診療所医師数は多い。総看護師数の偏差値は55とやや多い。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は52で、一般病床は全国平均レベルである。全身麻酔数の偏差値は51と全国平均レベルである。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は54と療養病床数はやや多い。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値52と全国平均レベルであり、回復期病床数は偏差値52と全国平均レベルである。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は53で精神病床数はやや多い。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は55で診療所数はやや多い。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 広島県の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、41,927人(75歳以上1,000人当たりの偏差値54)と全国平均レベルをやや上回る。そのうち、介護保険施設の定員が24,106床(偏差値52)、高齢者住宅等が17,821床(偏差値52)である。介護保険施設、高齢者住宅等ともに全国平均レベルである。また、介護職員(介護施設等)の合計は、34,865人(75歳以上1,000人当たりの偏差値63)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設51、特別養護老人ホーム48、介護療養型医療施設60、有料老人ホーム47、軽費ホーム50、グループホーム55、サ高住56である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値64と多く、在宅療養支援病院は偏差値55とやや多い。また、訪問看護ステーションは偏差値53とやや多い。介護職員(在宅)の合計は、4,926人(75歳以上1,000人当たりの偏差値49)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数は-18%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

2. 推移

【人口と医療需要】

広島県の総人口は、2005年2,876,642人が、2015年に2,843,990人と1%減少し、2025年の人口が2,758,220人と予測され、2005年→2025年の間に4%程度の減少が予測されている。

医療の需要（医療費ベース）は、2005年から2015年に11%増加し、2015年から2025年にかけて5%程度の増加が予測される。

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

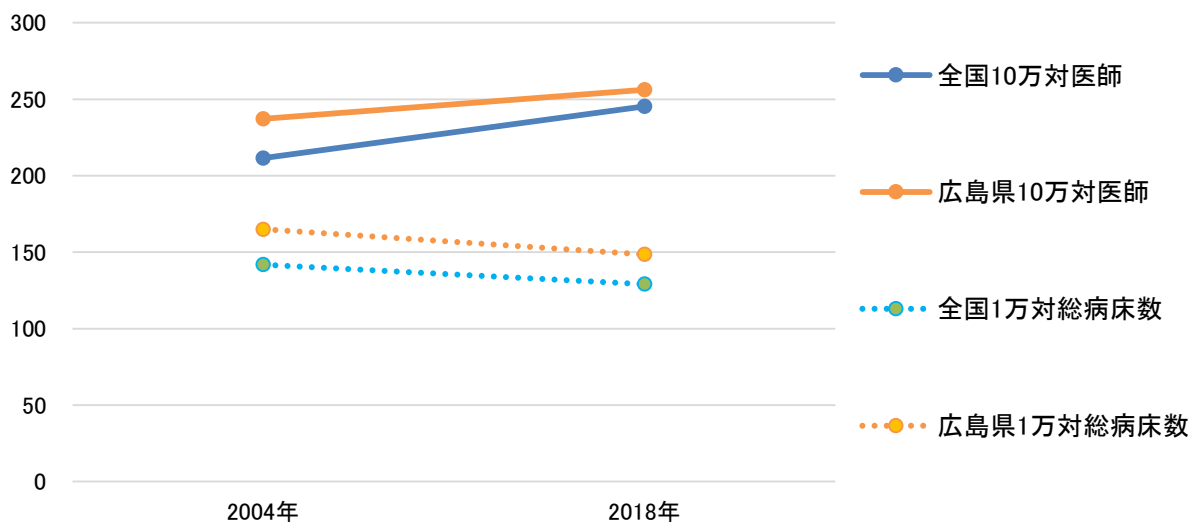
2004年の病院数が262(人口10万人当たり9.1病院(全国平均7.1)偏差値55)であったが、2018年に240(人口10万人当たり8.4病院(全国平均6.6)偏差値55)となり、14年間で22病院が減少した。

2004年の診療所数が2,615(人口10万人当たり91診療所(全国平均76)偏差値57)であったが、2018年に2,550(人口10万人当たり90診療所(全国平均80)偏差値55)と、65診療所が減少した。

2004年の総病床数が47,459床(人口1万人当たり165(全国平均142)偏差値54)であったが、2018年に42,241床(人口1万人当たり149(全国平均129)偏差値54)と、5,218床の減少、率にして11%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての総医師数が6,821人(人口10万人当たり237人(全国平均212人)偏差値53)であったが、2018年に7,286人(人口10万人当たり256人(全国平均245人)偏差値51)と、465人の増加、率にして7%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。

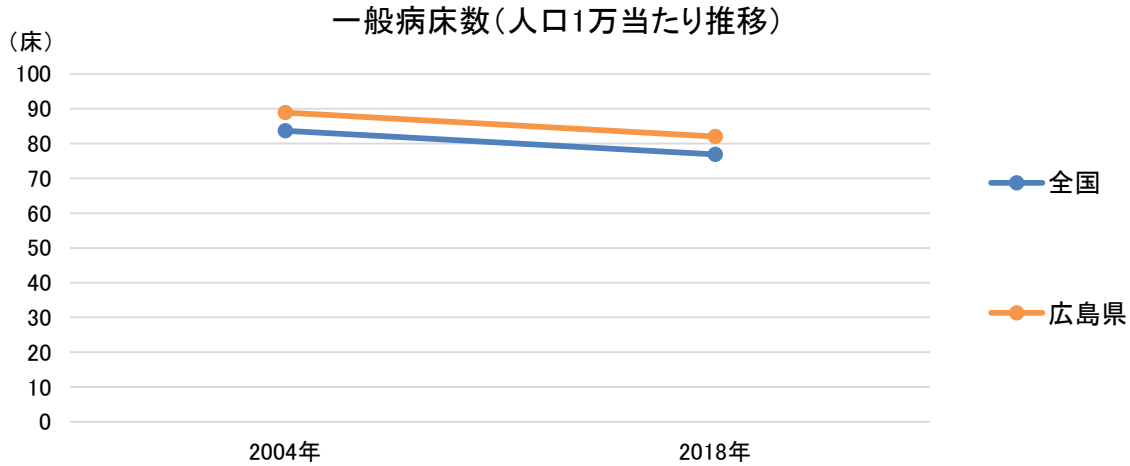
人口当たり医師数・総病床数の推移



34.広島県(2019年版)

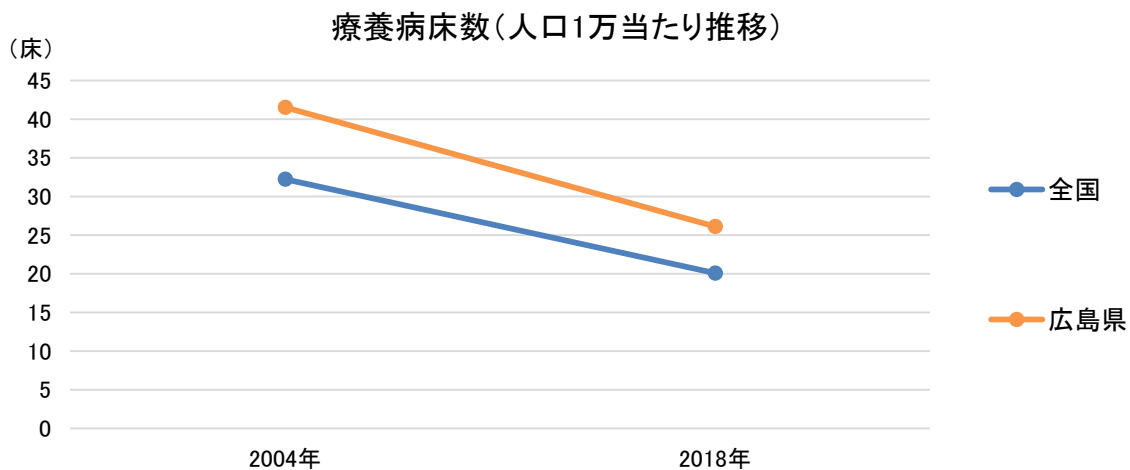
【一般病床の推移】

2004年の一般病床(病院+診療所)が25,575床(人口1万人当たり89(全国平均84)偏差値52)であったが、2018年に23,334床(人口1万人当たり82(全国平均77)偏差値52)と、2,241床の減少、率にして9%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。



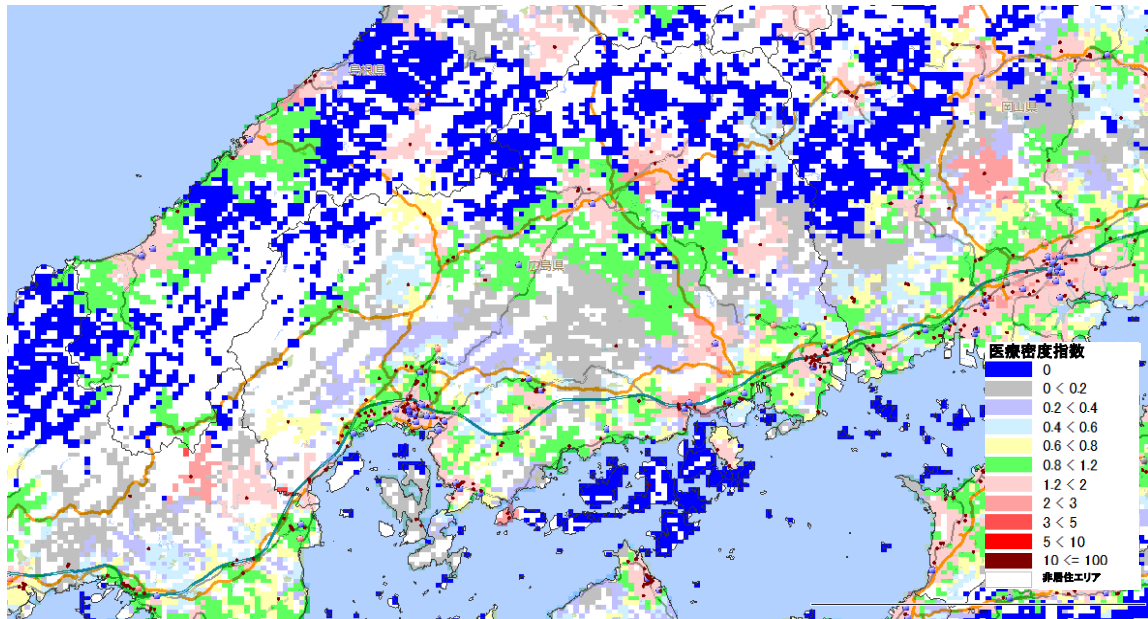
【療養病床の推移】

2004年の療養病床(病院+診療所)が11,988床(75歳以上1,000人当たり42(全国平均32)偏差値55)であったが、2018年に9,835床(75歳以上1,000人当たり26(全国平均20)偏差値55)と、2,153床の減少、率にして18%の減少(全国平均12%の減少)が見られた。



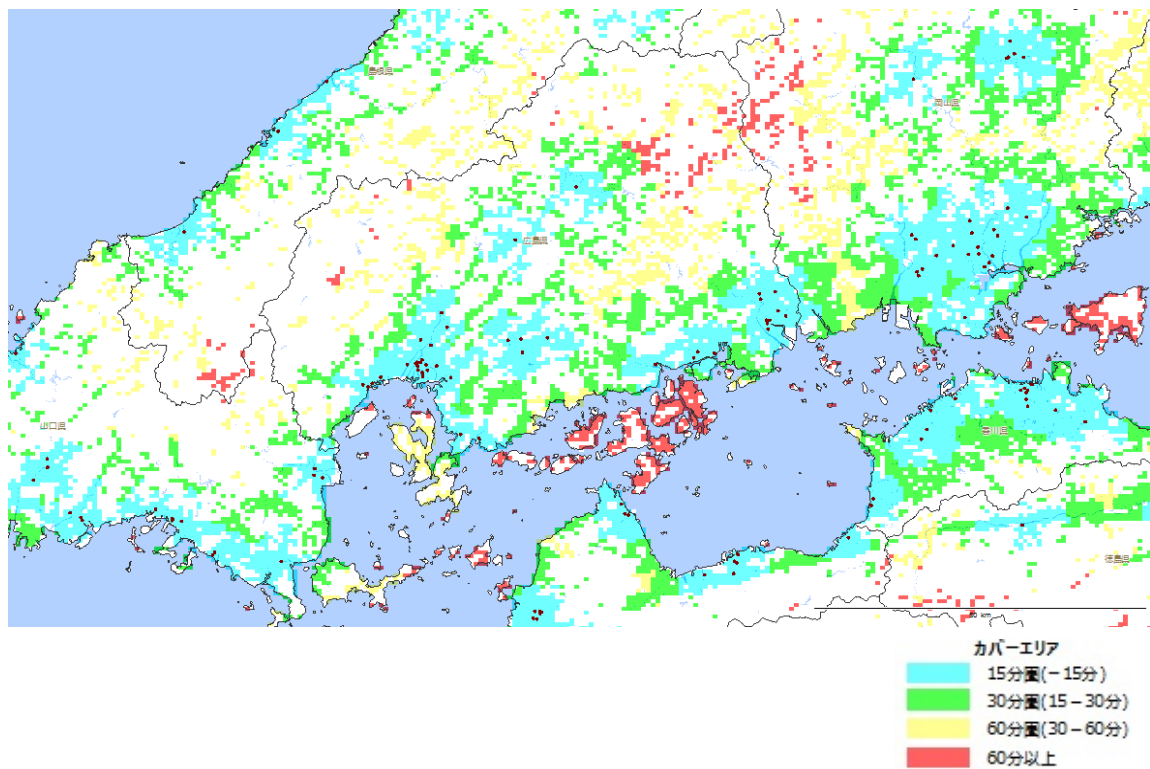
(広島県) 3. 医療密度・周産期カバーエリア

図表34-1 急性期医療密度指数マップ



図表34-2 分娩医療機関への所用運転時間（カバーエリア）

※全国1km²メッシュから最寄りの分娩取扱医療機関（病院と有床診療所）への運転時間を計算し、1km²メッシュの出生数との加重平均を用いて、市町村の平均運転時間を集計したもの（「地域の医療提供体制の現状 - 都道府県別・二次医療圏別データ集 - (2017年度版) 序章参照（日医総研WP no. 400）」）



34.広島県(2019年版)

資料編 ー 当県ならびに二次医療圏別資料

資_図表 34-1 地理情報・人口動態

二次医療圏	人口 (単位: 千人)	県内 シェア	面積	県内 シェア	人口 密度	地域タイプ	高齢 化率	2025年 総人口 (単位: 千人)	2040年 総人口 (単位: 千人)	2015年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2025年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2040年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2015→ 25年 総人口 増減率	2025→ 40年 総人口 増減率	2015→ 25年 75歳以上 人口 増減率	2025→ 40年 75歳以上 人口 増減率
全国	127,095		372,950		340.8		27%	122,544	110,919	16,322	21,800	22,392	-4%	-9%	34%	3%
広島県	2,844	12位	8,479	11位	335.4		28%	2,758	2,521	376	507	497	-3%	-9%	35%	-2%
広島	1,365	48%	2,506	30%	544.7	大都市型	25%	1,365	1,290	153	226	236	0%	-5%	48%	4%
広島西	143	5%	568	7%	251.3	地方都市型	29%	139	129	20	28	29	-3%	-7%	40%	4%
呉	253	9%	454	5%	557.6	地方都市型	34%	221	174	43	51	40	-13%	-21%	19%	-22%
広島中央	227	8%	797	9%	285.4	地方都市型	25%	223	207	27	36	37	-2%	-7%	33%	3%
尾三	251	9%	1,035	12%	242.7	地方都市型	34%	225	184	45	52	47	-10%	-18%	16%	-10%
福山・府中	514	18%	1,096	13%	469.1	地方都市型	28%	506	473	69	92	90	-2%	-7%	33%	-2%
備北	91	3%	2,025	24%	44.8	過疎地域型	37%	79	63	20	21	19	-13%	-20%	5%	-10%
出典	<人口(2015年)>平成27年国勢調査 人口等基本集計 平成27年10月 <人口(2025年、2040年)>日本の地域別将来推計人口 国立社会保障・人口問題研究所 平成30年3月 <面積>平成27年国勢調査 人口等基本集計 平成27年10月															

資_図表 34-2 一人当たり医療密度指数、介護充足度指数

二次医療圏	一人当たり 急性期医療 密度指数	一人当たり 慢性期医療 密度指数	75歳以上介護充足度		
			2019年 ベッド数	2025年目標 ベッド数	2025年充足度 指数 (%)
全国	1.00	1.00	1,499,244	1,772,098	-18.2%
広島県	1.08	1.40	35,550	42,013	-18.2%
広島	1.14	1.95	15,653	19,091	-22.0%
広島西	0.76	1.44	1,734	2,232	-28.7%
呉	1.14	1.24	3,467	4,117	-18.7%
広島中央	0.83	1.32	2,469	2,976	-20.6%
尾三	1.09	1.01	4,051	4,240	-4.7%
福山・府中	1.06	3.04	6,217	7,673	-23.4%
備北	1.13	1.59	1,959	1,684	14.0%
出典	<一人当たり急性期医療密度指数><一人当たり慢性期医療密度指数>その地域の住民が、どの程度の医療(急性期及び慢性期)を利用できるかの目安を示す指標。1.0が全国平均。0.8を下回ると少ない、0.6を下回ると非常に少ない、1.2以上充実、1.5以上非常に充実。「地域の医療提供体制の現状 - 都道府県別・二次医療圏別データ集 - (2016年度版)序章【参考資料】参照(日医総研WP no.375)」 <75歳以上介護充足度指数>高齢者住宅・施設の各地域の受入れ充足度を示す指標。2025年の75歳以上推定人口から算出した高齢者住宅・施設の目標ベッド数が2019年ベッド数と比べて何%多いか少ないかを示す。集計対象は、介護三施設、軽費老人ホーム、グループホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者賃貸住宅等である。				

資_図表 34-3 国保の医療費・地域差指数、全体の介護給付費

二次医療圏	一人あたり医療費 (国保のみ) (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数	入院費 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数	入院外+ 調剤 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数	被保険者 一人あたり 介護給付費 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	356	(44)	1.000	139	(31)	1.000	192	(17)	1.000	255	(34)
広島県	402	60	1.079	158	56	1.094	215	63	1.064	267	54
広島	407	62	1.113	154	55	1.083	223	68	1.126	270	54
広島西	387	57	1.018	150	54	1.014	208	59	1.011	231	43
呉	457	73	1.132	194	68	1.234	230	72	1.053	248	48
広島中央	387	57	1.039	159	56	1.095	199	54	0.989	250	49
尾三	407	62	1.038	166	59	1.082	214	63	1.008	284	58
福山・府中	365	52	0.999	145	52	1.019	194	51	0.980	263	52
備北	426	66	1.071	177	62	1.140	223	68	1.037	342	76
出典	<一人あたり医療費>平成29年度医療費の地域差分析 厚生労働省 <一人あたり介護給付費>平成29年度介護保険事業状況報告(年報) 平成29年度累計(平成29年3月サービス分から平成30年2月サービス分まで) ※介護給付費の二次医療圏値の算定には、福岡県と沖縄県の一部市町村が二次医療圏をまたぐ広域連合を構成しているため、構成市町村の75歳以上人口による按分を用いた。また、複数の二次医療圏をもつ横浜市および川崎市は同じデータを記載。										

資_図表 34-4 後期高齢者の医療費・地域差指数

二次医療圏	一人あたり 後期高齢者 医療費 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数	入院費 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数	入院外+ 調剤 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数
全国	929	(120)	1.000	466	(100)	1.000	429	(38)	1.000
広島県	1,044	60	1.105	515	55	1.079	485	65	1.119
広島	1,063	61	1.152	502	54	1.082	511	72	1.203
広島西	1,063	61	1.110	550	58	1.135	471	61	1.070
呉	1,090	63	1.141	552	59	1.143	495	67	1.128
広島中央	1,056	61	1.092	558	59	1.140	459	58	1.034
尾三	1,042	59	1.078	539	57	1.093	466	60	1.060
福山・府中	960	53	1.002	459	49	0.952	462	59	1.046
備北	1,059	61	1.079	585	62	1.143	446	55	1.019
出典	<一人あたり医療費>平成29年度医療費の地域差分析 厚生労働省								

資_図表 34-5 病院数、診療所数

二次医療圏	病院数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	診療所数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	8,372		6.6	(3.9)	102,105		80	(19.0)
広島県	240	2.9%	8.4	55	2,550	2.5%	90	55
広島	97	40%	7.1	51	1,336	52%	98	59
広島西	13	5%	9.1	56	126	5%	88	54
呉	30	13%	11.9	63	246	10%	97	59
広島中央	20	8%	8.8	56	168	7%	74	47
尾三	24	10%	9.6	58	201	8%	80	50
福山・府中	46	19%	8.9	56	383	15%	74	47
備北	10	4%	11.0	61	90	4%	99	60
出典	平成30年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成30年10月				平成30年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成30年10月			

資_図表 34-6 診療所数(全体、無床、有床)

二次医療圏	診療所数(再掲)				無床診療所数				有床診療所数			
	診療所数 (再掲)	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	無床 診療所数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	有床 診療所数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	102,105		80	(19.0)	95,171		75	(18.9)	6,934		5.5	(5.8)
広島県	2,550	2.5%	90	55	2,357	2.5%	83	54	193	2.8%	6.8	52
広島	1,336	52%	98	59	1,247	53%	91	59	89	46%	6.5	52
広島西	126	5%	88	54	119	5%	83	54	7	4%	4.9	49
呉	246	10%	97	59	227	10%	90	58	19	10%	7.5	54
広島中央	168	7%	74	47	156	7%	69	47	12	6%	5.3	50
尾三	201	8%	80	50	184	8%	73	49	17	9%	6.8	52
福山・府中	383	15%	74	47	345	15%	67	46	38	20%	7.4	53
備北	90	4%	99	60	79	3%	87	57	11	6%	12.1	62
出典	平成30年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成30年10月				平成30年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成30年10月				平成30年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成30年10月			

資_図表 34-7 病院総病床数、診療所病床数

二次医療圏	病院総病床数				診療所病床数				病院+診療所病床数			
	病院 総病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	診療所 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	病院+ 診療所 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	1,546,554		1,217	(476)	94,853		75	(91)	1,641,407		1,291	(530)
広島県	39,405	2.5%	1,386	54	2,836	3.0%	100	53	42,241	2.6%	1,485	54
広島	16,359	42%	1,198	50	1,346	47%	99	53	17,705	42%	1,297	50
広島西	2,534	6%	1,775	62	89	3%	62	49	2,623	6%	1,837	60
呉	4,608	12%	1,822	63	278	10%	110	54	4,886	12%	1,932	62
広島中央	3,362	9%	1,479	56	144	5%	63	49	3,506	8%	1,542	55
尾三	4,322	11%	1,721	61	244	9%	97	52	4,566	11%	1,818	60
福山・府中	6,432	16%	1,251	51	584	21%	114	54	7,016	17%	1,365	51
備北	1,788	5%	1,973	66	151	5%	167	60	1,939	5%	2,140	66
出典	平成30年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成30年10月				平成30年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成30年10月				病院総病床数と診療所病床数の合計			

資_図表 34-8 病院病床数(一般病床、療養病床、精神病床)

二次医療圏	一般病床数				療養病床数				精神病床数			
	一般 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	療養 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	精神 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	890,712		701	(223)	319,506		251	(200)	329,692		259	(209)
広島県	20,978	2.4%	738	52	9,355	2.9%	329	54	8,905	2.7%	313	53
広島	8,859	42%	649	48	3,908	42%	286	52	3,533	40%	259	50
広島西	1,127	5%	789	54	931	10%	652	70	476	5%	333	54
呉	2,383	11%	942	61	859	9%	340	54	1,320	15%	522	63
広島中央	1,684	8%	741	52	704	8%	310	53	920	10%	405	57
尾三	2,507	12%	998	63	898	10%	358	55	917	10%	365	55
福山・府中	3,623	17%	705	50	1,299	14%	253	50	1,504	17%	293	52
備北	795	4%	877	58	756	8%	834	79	235	3%	259	50
出典	平成30年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成30年10月				平成30年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成30年10月				平成30年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成30年10月			

資_図表 34-9 回復期リハビリ病棟病床数と地域包括ケア病棟病床数

二次医療圏	回復期 病床数				地域包括 ケア 病床数			
	回復期 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	地域包括 ケア 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	80,806		64	(46)	79,543		63	(71)
広島県	2,060	2.5%	72	52	2,636	3.3%	93	54
広島	914	44%	67	51	1,053	40%	77	52
広島西	180	9%	126	63	58	2%	41	47
呉	173	8%	68	51	153	6%	61	50
広島中央	78	4%	34	44	166	6%	73	51
尾三	196	10%	78	53	396	15%	158	63
福山・府中	469	23%	91	56	672	25%	131	60
備北	50	2%	55	48	138	5%	152	63
出典	平成29年度病床機能報告 平成29年7月				令和元年6月地方厚生局			

資_図表 34-10 公的病院病床数、民間病院病床数

二次医療圏	公的病院			民間病院			一般病床		療養病床	
	総病床数	一般 病床数	療養 病床数	総病床数	一般 病床数	療養 病床数	公的病院 病床数 の比率	偏差値 *全国は 標準偏差	公的病院 病床数 の比率	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	440,405	392,862	15,873	1,086,693	494,667	292,291	44.3%	(27%)	5.2%	(22%)
広島県	12,736	11,230	495	25,982	9,448	8,739	54.3%	54	5.4%	50
広島	4,999	4,465	213	11,208	4,333	3,752	50.8%	52	5.4%	50
広島西	971	971	0	1,563	156	931	86.2%	66	0.0%	48
呉	1,579	1,483	0	2,917	818	859	64.5%	58	0.0%	48
広島中央	1,285	953	0	2,002	721	673	56.9%	55	0.0%	48
尾三	1,464	1,309	155	2,758	1,191	650	52.4%	53	19.3%	56
福山・府中	1,734	1,388	86	4,504	2,095	1,213	39.9%	48	6.6%	51
備北	704	661	41	1,030	134	661	83.1%	65	5.8%	50
出典	地方厚生局指定一覧令和元年12月公表データをもとに株式会社ウェルネスが集計 公的病院の分類は、「新公立病院改革プラン」と「公的医療機関等2025プラン」の策定対象医療機関および開設者が国の医療機 関とし、それ以外は民間病院とした。									

資_図表 34-11 全身麻酔件数、分娩件数(年間)

二次医療圏	全身麻酔 件数				分娩件数			
	全身麻酔 件数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	分娩件数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	2,217,312		1,745	(819)	923,436		727	(264)
広島県	52,728	2.4%	1,854	51	20,412	2.2%	718	50
広島	28,608	54%	2,096	54	9,696	48%	710	49
広島西	4,392	8%	3,076	66	1,416	7%	992	60
呉	5,448	10%	2,154	55	1,416	7%	560	44
広島中央	2,448	5%	1,077	42	1,560	8%	686	48
尾三	3,852	7%	1,534	47	1,404	7%	559	44
福山・府中	6,228	12%	1,211	43	4,200	21%	817	53
備北	1,752	3%	1,933	52	720	4%	795	53
出典	平成29年度病床機能報告 ※平成29年6月の月間件数×12				平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月 ※平成29年9月の月間件数×12			

34.広島県(2019年版)

資_図表 34-12 医師数(総数、病院医師数、診療所医師数)

二次医療圏	総医師数				病院医師数				診療所医師数			
	総医師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病院医師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	診療所医師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	311,963		245	(92)	208,127		164	(73)	103,836		82	(24)
広島県	7,286	2.3%	256	51	4,543	2.2%	160	49	2,743	2.6%	96	56
広島	3,891	53%	285	54	2,405	53%	176	52	1,486	54%	109	61
広島西	387	5%	271	53	249	5%	174	51	138	5%	97	56
呉	749	10%	296	56	500	11%	198	55	249	9%	98	57
広島中央	448	6%	197	45	265	6%	117	44	183	7%	81	49
尾三	554	8%	221	47	347	8%	138	47	207	8%	82	50
福山・府中	1,040	14%	202	45	633	14%	123	44	407	15%	79	49
備北	217	3%	239	49	144	3%	159	49	73	3%	81	50
出典	病院医師数と診療所医師数の合計				平成30年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成30年12月				平成30年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成30年12月			

資_図表 34-13 専門医数(総合内科、小児科、産婦人科)

二次医療圏	総合内科専門医数				小児科専門医数				産婦人科専門医数			
	総合内科専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	小児科専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	産婦人科専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	29,158		22.9	(11.4)	14,021		11.0	(4.9)	11,300		8.9	(4.1)
広島県	686	2.4%	24.1	51	313	2.2%	11.0	50	212	1.9%	7.5	46
広島	403	59%	29.5	56	182	58%	13.3	55	110	52%	8.1	48
広島西	33	5%	23.1	50	23	7%	16.1	60	13	6%	9.1	51
呉	67	10%	26.5	53	21	7%	8.3	44	19	9%	7.5	47
広島中央	25	4%	11.0	40	17	5%	7.5	43	10	5%	4.4	39
尾三	54	8%	21.5	49	23	7%	9.2	46	16	8%	6.4	44
福山・府中	83	12%	16.1	44	39	12%	7.6	43	37	17%	7.2	46
備北	21	3%	23.2	50	8	3%	8.8	45	7	3%	7.7	47
出典	平成30年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成30年12月											

資_図表 34-14 専門医数(皮膚科、眼科、耳鼻咽喉科)

二次医療圏	皮膚科専門医数				眼科専門医数				耳鼻咽喉科専門医数			
	皮膚科専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	眼科専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	耳鼻咽喉科専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	5,732		4.5	(2.2)	9,911		7.8	(3.2)	7,569		6.0	(2.7)
広島県	132	2.3%	4.6	51	234	2.4%	8.2	51	183	2.4%	6.4	52
広島	79	60%	5.8	56	138	59%	10.1	57	100	55%	7.3	55
広島西	9	7%	6.3	58	13	6%	9.1	54	8	4%	5.6	49
呉	9	7%	3.6	46	21	9%	8.3	52	17	9%	6.7	53
広島中央	5	4%	2.2	40	15	6%	6.6	46	8	4%	3.5	41
尾三	12	9%	4.8	51	15	6%	6.0	44	14	8%	5.6	49
福山・府中	14	11%	2.7	42	28	12%	5.4	43	33	18%	6.4	52
備北	4	3%	4.4	50	4	2%	4.4	39	3	2%	3.3	40
出典	平成30年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成30年12月											

資_図表 34-15 専門医数(精神科、外科、整形外科)

二次医療圏	精神科				外科				整形外科			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	9,675		7.6	(3.7)	21,907		17.2	(7.1)	16,875		13.3	(4.6)
広島県	237	2.4%	8.3	52	549	2.5%	19.3	53	433	2.6%	15.2	54
広島	153	65%	11.2	60	282	51%	20.7	55	234	54%	17.1	58
広島西	8	3%	5.6	45	27	5%	18.9	52	18	4%	12.6	49
呉	18	8%	7.1	49	52	9%	20.6	55	45	10%	17.8	60
広島中央	10	4%	4.4	41	26	5%	11.4	42	33	8%	14.5	53
尾三	20	8%	8.0	51	51	9%	20.3	54	35	8%	13.9	51
福山・府中	24	10%	4.7	42	97	18%	18.9	52	59	14%	11.5	46
備北	4	2%	4.4	41	14	3%	15.4	47	9	2%	9.9	43
出典	平成30年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成30年12月											

資_図表 34-16 専門医数(泌尿器科、脳神経外科、放射線科)

二次医療圏	泌尿器科				脳神経外科				放射線科			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	6,200		4.9	(2.2)	6,967		5.5	(2.5)	5,943		4.7	(3.2)
広島県	122	2.0%	4.3	47	169	2.4%	5.9	52	141	2.4%	5.0	51
広島	55	45%	4.0	46	91	54%	6.7	55	87	62%	6.4	55
広島西	9	7%	6.3	57	9	5%	6.3	53	8	6%	5.6	53
呉	16	13%	6.3	57	17	10%	6.7	55	16	11%	6.3	55
広島中央	6	5%	2.6	40	7	4%	3.1	40	0	0%	0	35
尾三	10	8%	4.0	46	16	9%	6.4	54	6	4%	2.4	43
福山・府中	21	17%	4.1	46	25	15%	4.9	47	21	15%	4.1	48
備北	5	4%	5.5	53	4	2%	4.4	46	3	2%	3.3	46
出典	平成30年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成30年12月											

資_図表 34-17 専門医数(麻酔科、病理、救急科)

二次医療圏	麻酔科				病理				救急科			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	7,382		5.8	(3.3)	1,669		1.3	(1.0)	4,262		3.4	(2.1)
広島県	170	2.3%	6.0	51	29	1.7%	1.0	47	93	2.2%	3.3	50
広島	104	61%	7.6	55	16	55%	1.2	49	54	58%	4.0	53
広島西	6	4%	4.2	45	1	3%	0.7	44	7	8%	4.9	57
呉	15	9%	5.9	50	4	14%	1.6	53	12	13%	4.7	57
広島中央	1	1%	0.4	34	1	3%	0.4	41	1	1%	0.4	36
尾三	13	8%	5.2	48	1	3%	0.4	41	4	4%	1.6	42
福山・府中	26	15%	5.1	48	6	21%	1.2	49	14	15%	2.7	47
備北	5	3%	5.5	49	0	0%	0	37	1	1%	1.1	39
出典	平成30年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成30年12月											

34.広島県(2019年版)

資_図表 34-18 専門医数(形成外科、リハビリテーション科)

二次医療圏	形成外科 専門医数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	リハビリテ- ーション科 専門医数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	2,220		1.7	(1.3)	2,758		2.2	(1.5)
広島県	33	1.5%	1.2	45	66	2.4%	2.3	51
広島	20	61%	1.5	48	35	53%	2.6	53
広島西	2	6%	1.4	47	1	2%	0.7	40
呉	3	9%	1.2	46	6	9%	2.4	51
広島中央	0	0%	0	36	3	5%	1.3	44
尾三	0	0%	0	36	3	5%	1.2	43
福山・府中	8	24%	1.6	49	17	26%	3.3	58
備北	0	0%	0	36	1	2%	1.1	43
出典	平成30年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成30年12月							

資_図表 34-19 看護師数(総数、病院看護師数、診療所看護師数)

二次医療圏	総看護師 数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	病院 看護師数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	診療所 看護師数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	1,145,134		901	(287)	919,205		723	(243)	225,929		178	(71)
広島県	29,386	2.6%	1,033	55	23,053	2.5%	811	54	6,333	2.8%	223	56
広島	13,830	47%	1,013	54	10,632	46%	779	52	3,199	51%	234	58
広島西	1,675	6%	1,173	59	1,377	6%	964	60	298	5%	209	54
呉	3,128	11%	1,237	62	2,528	11%	1,000	61	600	9%	237	58
広島中央	2,200	7%	968	52	1,794	8%	789	53	406	6%	179	50
尾三	3,124	11%	1,244	62	2,550	11%	1,015	62	575	9%	229	57
福山・府中	4,328	15%	842	48	3,291	14%	640	47	1,037	16%	202	53
備北	1,100	4%	1,214	61	882	4%	974	60	218	3%	240	59
出典	病院看護師数と診療所看護師数の合計				平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月				平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月			

資_図表 34-20 総療法士数と薬剤師数

二次医療圏	総療法士 数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	薬剤師 数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	139,385		110	(57)	311,289		245	(103)
広島県	3,492	2.5%	123	52	7,229	2.3%	254	51
広島	1,455	42%	107	49	3,817	53%	280	53
広島西	209	6%	146	56	335	5%	235	49
呉	343	10%	136	55	615	9%	243	50
広島中央	326	9%	143	56	409	6%	180	44
尾三	406	12%	162	59	603	8%	240	50
福山・府中	656	19%	128	53	1,279	18%	249	50
備北	98	3%	108	50	171	2%	189	45
出典	平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月				平成30年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成30年12月			

資_図表 34-21 在宅医療施設数(在宅療養支援診療所、在宅療養支援病院、訪問看護ステーション)

二次医療圏	在宅療養支援診療所				在宅療養支援病院				訪問看護ステーション			
	在宅療養支援診療所	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	在宅療養支援病院	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	訪問看護ステーション	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	14,484		0.9	(0.4)	1,483		0.1	(0.1)	11,549		0.7	(0.2)
広島県	565	3.9%	1.5	64	47	3.2%	0.1	55	292	2.5%	0.8	53
広島	275	49%	1.8	71	17	36%	0.1	53	150	51%	1.0	62
広島西	28	5%	1.4	62	2	4%	0.1	51	17	6%	0.9	57
呉	46	8%	1.1	54	5	11%	0.1	53	23	8%	0.5	42
広島中央	50	9%	1.9	72	4	9%	0.2	58	26	9%	1.0	62
尾三	63	11%	1.4	62	4	9%	0.1	50	27	9%	0.6	45
福山・府中	85	15%	1.2	58	14	30%	0.2	65	40	14%	0.6	44
備北	18	3%	0.9	50	1	2%	0.1	44	9	3%	0.5	39
出典	届出受理医療機関名簿 地方厚生局 令和元年12月				届出受理医療機関名簿 地方厚生局 令和元年12月				介護サービス情報公表システム 厚生労働省 令和元年6月			

資_図表 34-22 総高齢者施設・住宅定員数、介護保険施設定員(病床)数、高齢者住宅定員数

二次医療圏	総高齢者施設・住宅定員数				介護保険施設定員(病床)数				高齢者住宅定員数			
	総高齢者施設・住宅定員数	全国シェア県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	介護保険施設定員(病床)数	全国シェア県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	高齢者住宅定員数	全国シェア県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,719,101		105	(17)	1,004,501		62	(12)	714,600		44	(16)
広島県	41,927	2.4%	111	54	24,106	2.4%	64	52	17,821	2.5%	47	52
広島	18,848	45%	123	61	9,794	41%	64	52	9,054	51%	59	60
広島西	2,039	5%	103	49	1,245	5%	63	51	794	4%	40	48
呉	3,776	9%	87	39	2,823	12%	65	53	953	5%	22	36
広島中央	2,714	6%	102	48	1,771	7%	67	54	943	5%	35	45
尾三	4,635	11%	104	49	3,031	13%	68	55	1,604	9%	36	45
福山・府中	7,893	19%	114	55	3,983	17%	58	47	3,910	22%	57	58
備北	2,022	5%	101	48	1,459	6%	73	59	563	3%	28	40
出典	介護保険施設定員(病床)数と高齢者住宅定員数の合計				老人保健施設(老健)定員数、特別養護老人ホーム(特養)定員数、介護療養病床数の合計				有料老人ホーム、軽費ホーム、グループホーム、サ高住の合計			

資_図表 34-23 老人保健施設(老健)定員数、特別養護老人ホーム(特養)定員数、介護療養病床数

二次医療圏	老人保健施設(老健)定員数				特別養護老人ホーム(特養)定員数				介護療養病床数			
	老人保健施設(老健)定員数	全国シェア県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	特別養護老人ホーム(特養)定員数	全国シェア県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	介護療養病床数	全国シェア県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	368,125		23	(6.0)	584,338		36	(9.9)	52,038		3.2	(3.8)
広島県	8,807	2.4%	23	51	12,680	2.2%	34	48	2,619	5.0%	7.0	60
広島	3,192	36%	21	47	5,212	41%	34	48	1,390	53%	9.1	65
広島西	476	5%	24	53	551	4%	28	42	218	8%	11.0	71
呉	1,227	14%	28	60	1,377	11%	32	46	219	8%	5.1	55
広島中央	581	7%	22	49	1,023	8%	38	53	167	6%	6.3	58
尾三	1,353	15%	30	63	1,379	11%	31	45	299	11%	6.7	59
福山・府中	1,483	17%	21	48	2,263	18%	33	47	237	9%	3.4	51
備北	495	6%	25	54	875	7%	44	58	89	3%	4.5	53
出典	令和元年6月 厚生労働省 介護サービス情報公表システムより株式会社ウエルネスが二次医療圏別に集計したもの											

34.広島県(2019年版)

資_図表 34-24 有料老人ホーム定員数、軽費ホーム定員数、グループホーム定員数

二次医療圏	有料老人ホーム	全国	75歳以上	偏差値 *全国は標準偏差	全国	75歳以上	偏差値 *全国は標準偏差	グループホーム	全国	75歳以上	偏差値 *全国は標準偏差	
		シェア	1,000人			シェア			1,000人	シェア		1,000人
全国	240,971		14.8	(10.9)	23,545		1.4	(2.1)	204,406		12.5	(5.7)
広島県	4,228	1.8%	11.2	47	517	2.2%	1.4	50	5,744	2.8%	15.3	55
広島	2,714	64%	17.7	53	140	27%	0.9	48	2,885	50%	18.9	61
広島西	217	5%	11.0	47	0	0%	0	43	216	4%	10.9	47
呉	82	2%	1.9	38	62	12%	1.4	50	368	6%	8.5	43
広島中央	248	6%	9.3	45	30	6%	1.1	49	216	4%	8.1	42
尾三	325	8%	7.3	43	75	15%	1.7	51	495	9%	11.1	47
福山・府中	576	14%	8.3	44	100	19%	1.4	50	1,321	23%	19.1	62
備北	66	2%	3.3	39	110	21%	5.5	69	243	4%	12.2	49
出典	令和元年6月 厚生労働省 介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資_図表 34-25 サービス付き高齢者専用賃貸住宅(サ高住)定員数

二次医療圏	サ高住(全施設)	全国	75歳以上	偏差値 *全国は標準偏差	サ高住(特定施設)	全国	75歳以上	偏差値 *全国は標準偏差	サ高住(非特定施設)	全国	75歳以上	偏差値 *全国は標準偏差
		シェア	1,000人			シェア	1,000人			シェア	1,000人	
全国	245,678		15.1	(7.4)	25,821		1.6	(1.9)	219,857		13.5	(7.1)
広島県	7,332	3.0%	19.5	56	955	3.7%	2.5	55	6,377	2.9%	16.9	55
広島	3,315	45%	21.7	59	120	13%	0.8	46	3,195	50%	20.9	60
広島西	361	5%	18.3	54	56	6%	2.8	56	305	5%	15.5	53
呉	441	6%	10.2	43	132	14%	3.0	58	309	5%	7.1	41
広島中央	449	6%	16.9	52	204	21%	7.7	81	245	4%	9.2	44
尾三	709	10%	15.9	51	125	13%	2.8	56	584	9%	13.1	49
福山・府中	1,913	26%	27.7	67	237	25%	3.4	60	1,676	26%	24.3	65
備北	144	2%	7.2	39	81	8%	4.1	63	63	1%	3.2	36
出典	サ高住(特定施設)とサ高住(非特定施設)の合計 令和元年6月 国土交通省・厚生労働省 サービス付き高齢者向け住宅 情報提供システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資_図表 34-26 介護サービス従事看護師数(介護施設、訪問看護)(常勤換算)

二次医療圏	介護サービス従事看護師数	全国	75歳以上	偏差値 *全国は標準偏差	看護師数(施設)	全国	75歳以上	偏差値 *全国は標準偏差	看護師数(訪問)	全国	75歳以上	偏差値 *全国は標準偏差
		シェア	1,000人			シェア	1,000人			シェア	1,000人	
全国	174,893		10.7	(2.2)	119,205		7.3	(1.9)	55,688		3.4	(1.2)
広島県	4,918	2.8%	13.1	61	3,382	2.8%	9.0	59	1,536	2.8%	4.1	56
広島	2,243	46%	14.7	68	1,389	41%	9.1	59	854	56%	5.6	69
広島西	253	5%	12.8	60	176	5%	8.9	59	77	5%	3.9	54
呉	500	10%	11.5	54	375	11%	8.7	57	125	8%	2.9	45
広島中央	403	8%	15.2	70	283	8%	10.7	68	120	8%	4.5	59
尾三	559	11%	12.5	58	437	13%	9.8	63	122	8%	2.7	44
福山・府中	761	15%	11.0	51	562	17%	8.1	54	199	13%	2.9	45
備北	197	4%	9.9	46	158	5%	7.9	53	39	3%	2.0	38
出典	令和元年6月 厚生労働省 介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資_図表 34-27 介護サービス従事介護職員数(介護施設等、在宅介護)(常勤換算)

二次医療圏	介護サービス従事介護職員数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	介護職員数 (介護施設等)				介護職員数 (在宅)			
					全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差		
全国	1,513,115		93	(11.3)	1,294,087		79	(10.6)	219,028		13.4	(5.3)
広島県	39,790	2.6%	106	62	34,865	2.7%	93	63	4,926	2.2%	13.1	49
広島	17,763	45%	116	71	15,089	43%	99	68	2,674	54%	17.5	58
広島西	1,832	5%	93	50	1,471	4%	75	46	362	7%	18.3	59
呉	3,798	10%	88	46	3,286	9%	76	47	512	10%	11.8	47
広島中央	2,763	7%	104	60	2,570	7%	97	66	193	4%	7.3	38
尾三	4,117	10%	92	49	3,707	11%	83	53	410	8%	9.2	42
福山・府中	7,570	19%	110	65	6,945	20%	101	70	625	13%	9.1	42
備北	1,947	5%	97	54	1,797	5%	90	60	150	3%	7.5	39
出典	令和元年6月 厚生労働省 介護サービス情報公表システムより株式会社ウエルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資_図表 34-28 在宅医療・介護サービス利用者数(月間)

二次医療圏	在宅医療利用者数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	訪問看護利用者数				訪問介護利用者数			
					全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差		
全国	1,228,040		75	(35)	552,189		34	(14)	1,116,943		68	(24)
広島県	36,827	3.0%	98	56	14,296	2.6%	38	53	23,816	2.1%	63	48
広島	19,183	52%	125	64	8,638	60%	56	66	12,869	54%	84	57
広島西	994	3%	50	43	631	4%	32	49	1,168	5%	59	46
呉	5,326	14%	123	64	1,111	8%	26	44	2,674	11%	62	47
広島中央	1,740	5%	65	47	850	6%	32	49	1,116	5%	42	39
尾三	2,911	8%	65	47	1,258	9%	28	46	2,300	10%	51	43
福山・府中	5,785	16%	84	52	1,471	10%	21	41	2,873	12%	42	39
備北	888	2%	44	41	337	2%	17	38	816	3%	41	38
出典	令和元年6月 厚生労働省 介護サービス情報公表システムより株式会社ウエルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資_図表 34-29 総人口の推移と医療需要の増減(医療費ベース)

二次医療圏	地域タイプ	総人口(2005→2015→2025)					医療需要推移(医療費ベース) (2005→2015→2025)		
		2005年	2015年	2005→ 15年 増減率	2025年 (推計)	2005→ 25年 増減率	2005→ 15年 増減率	2015→ 25年 増減率	2005→ 25年 増減率
全国		127,767,994	127,094,745	-1%	122,544,102	-4%	13%	5%	18%
広島県		2,876,642	2,843,990	-1%	2,758,220	-4%	11%	5%	17%
広島	大都市型	1,333,953	1,365,134	2%	1,365,023	2%	16%	9%	27%
広島西	地方都市型	145,809	142,771	-2%	139,271	-4%	12%	9%	22%
呉	地方都市型	280,942	252,891	-10%	221,255	-21%	3%	-6%	-3%
広島中央	地方都市型	224,323	227,325	1%	222,939	-1%	12%	6%	18%
尾三	地方都市型	273,287	251,157	-8%	225,057	-18%	3%	-2%	0%
福山・府中	地方都市型	515,865	514,097	0%	505,770	-2%	12%	6%	19%
備北	過疎地域型	102,463	90,615	-12%	78,905	-23%	-4%	-6%	-10%
出典	<人口(2005年)>平成17年国勢調査 都道府県・市区町村別統計表(男女別人口,年齢(3区分)・割合,就業者数,居間人口など) <人口(2015年)>平成27年国勢調査 人口等基本集計 平成27年10月 <人口(2025年)>日本の地域別将来推計人口 国立社会保障・人口問題研究所 平成30年3月 ※医療需要は(0~64歳人口)+(65~74歳人口)×3.0+(75歳以上人口)×4.9で算出。								

34.広島県(2019年版)

資_図表 34-30 病院数の推移

二次医療圏	2004年			2018年			2004→2018増減	
	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率
全国	9,077	7.1	(3.9)	8,372	6.6	(3.9)	-705	-8%
広島県	262	9.1	55	240	8.4	55	-22	-8%
広島	103	7.7	52	97	7.1	51	-6	-6%
広島西	14	9.6	56	13	9.1	56	-1	-7%
呉	35	12.5	64	30	11.9	63	-5	-14%
広島中央	21	9.4	56	20	8.8	56	-1	-5%
尾三	26	9.5	56	24	9.6	58	-2	-8%
福山・府中	53	10.3	58	46	8.9	56	-7	-13%
備北	10	9.8	57	10	11.0	61	0	0%
出典	<病院数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <病院数2018年>平成30年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成30年10月							

資_図表 34-31 診療所数の推移

二次医療圏	2004年			2018年			2004→2018増減	
	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率
全国	97,051	76	(20)	102,105	80	(19)	5,054	5%
広島県	2,615	91	57	2,550	90	55	-65	-2%
広島	1,330	100	62	1,336	98	59	6	0%
広島西	127	87	56	126	88	54	-1	-1%
呉	297	106	65	246	97	59	-51	-17%
広島中央	166	74	49	168	74	47	2	1%
尾三	239	87	56	201	80	50	-38	-16%
福山・府中	358	69	47	383	74	47	25	7%
備北	98	96	60	90	99	60	-8	-8%
出典	<診療所数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <診療所数2018年>平成30年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成30年10月							

資_図表 34-32 医師数の推移

二次医療圏	2004年			2018年			2004→2018増減	
	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率
全国	270,371	212	(84)	311,963	245	(92)	41,592	15%
広島県	6,821	237	53	7,286	256	51	465	7%
広島	3,472	260	56	3,891	285	54	419	12%
広島西	308	211	50	387	271	53	79	26%
呉	820	292	60	749	296	56	-71	-9%
広島中央	393	175	46	448	197	45	55	14%
尾三	609	223	51	554	221	47	-55	-9%
福山・府中	996	193	48	1,040	202	45	44	4%
備北	223	218	51	217	239	49	-6	-3%
出典	<総医師数2004年>平成16年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成16年12月 <総医師数2018年>平成30年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成30年12月							

資_図表 34-33 総病床数(精神科を含む)の推移

二次医療圏	2004年			2018年			2004→2018増減	
	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率
全国	1,812,554	142	(56)	1,641,407	129	(53)	-171,147	-9%
広島県	47,459	165	54	42,241	149	54	-5,218	-11%
広島	20,223	152	52	17,705	130	50	-2,518	-12%
広島西	2,817	193	59	2,623	184	60	-194	-7%
呉	5,444	194	59	4,886	193	62	-558	-10%
広島中央	3,760	168	55	3,506	154	55	-254	-7%
尾三	5,153	189	58	4,566	182	60	-587	-11%
福山・府中	7,920	154	52	7,016	136	51	-904	-11%
備北	2,142	209	62	1,939	214	66	-203	-9%
出典	<総病床数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <総病床数2018年>平成30年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成30年10月							

資_図表 34-34 一般病床数(病院+診療所)の推移

二次医療圏	2004年			2018年			2004→2018増減	
	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率
全国	1,068,821	84	(28)	977,056	77	(26)	-91,765	-9%
広島県	25,575	89	52	23,334	82	52	-2,241	-9%
広島	11,237	84	50	10,006	73	49	-1,231	-11%
広島西	1,312	90	52	1,192	83	53	-120	-9%
呉	2,688	96	54	2,593	103	60	-95	-4%
広島中央	1,814	81	49	1,808	80	51	-6	0%
尾三	3,122	114	61	2,715	108	62	-407	-13%
福山・府中	4,455	86	51	4,119	80	51	-336	-8%
備北	947	92	53	901	99	59	-46	-5%
出典	<一般病床数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <一般病床数2018年>平成30年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成30年10月							

資_図表 34-35 療養病床数(病院+診療所)の推移

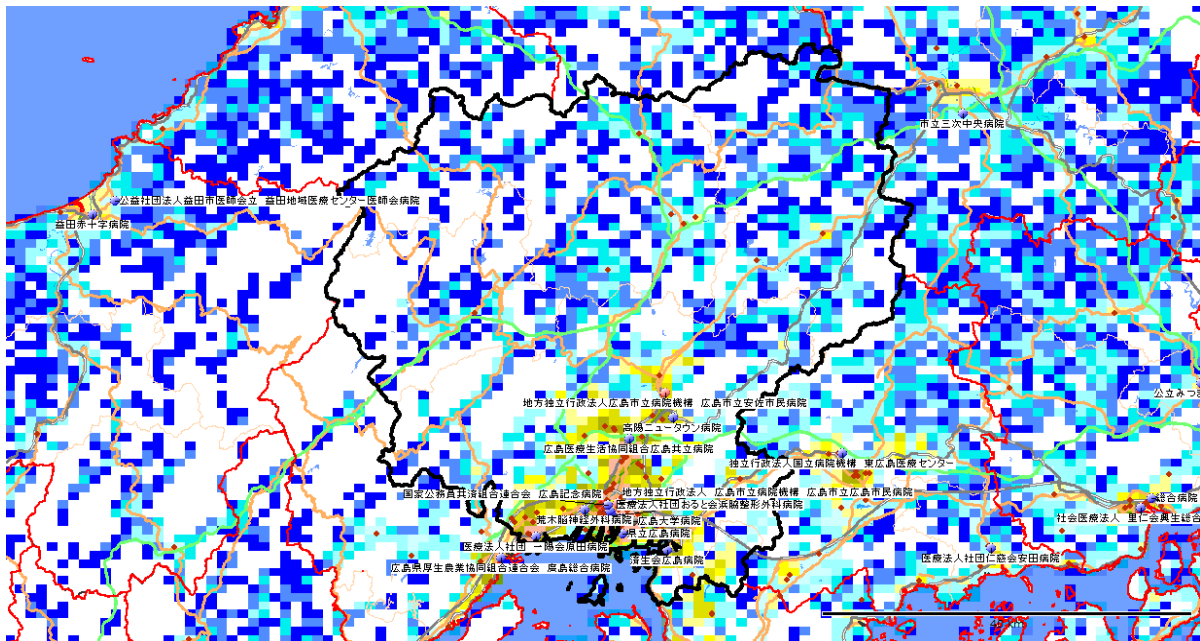
二次医療圏	2004年			2018年			2004→2018増減	
	数	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率
全国	373,823	32	(18)	328,015	20	(11)	-45,808	-12%
広島県	11,988	42	55	9,835	26	55	-2,153	-18%
広島	5,055	47	58	4,107	27	56	-948	-19%
広島西	1,029	70	71	955	48	76	-74	-7%
呉	1,258	35	52	927	21	51	-331	-26%
広島中央	888	42	55	724	27	56	-164	-18%
尾三	1,070	28	48	934	21	51	-136	-13%
福山・府中	1,778	35	51	1,387	20	50	-391	-22%
備北	910	49	59	801	40	68	-109	-12%
出典	<一般病床数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <一般病床数2018年>平成30年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成30年10月							

ひろしま 34-1. 広島医療圏

構成市区町村	中区	東区	南区	西区
	安佐南区	安佐北区	安芸区	佐伯区
	安芸高田市	府中町	海田町	熊野町
	坂町	安芸太田町	北広島町	

※日本医師会JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能
<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

人口分布(1km²区画単位)



1km²区画(1km²メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く(10,000人/km²以上)、黄色系統は中間レベル(1,000~10,000人/km²)、青色系統は人口が少ない(1,000人/km²未満)。白色は非居住地。
 出所: 国勢調査(平成22年、総務省) 地図情報GIS Market Analyzer ver. 3.7 地図 PAREAシリーズ

区画内人口(1平方キロ)



DPC病院



(広島医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

- *人口、面積など： 広島(広島市中区)は、総人口約1,365千人(2015年)、面積2,506km²、人口密度は545人/km²の大都市型二次医療圏である。
- *人口の将来予測： 広島の総人口は2025年に1,365千人とほぼ変わらず(2015年比±0%)、2040年に1,290千人へと減少する(2025年比-5%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の153千人が、2025年にかけて226千人へと増加し(2015年比+48%)、2040年には236千人へと増加する(2025年比+4%)ことが予想される。
- *医療費と介護給付費： 広島の一人当たり医療費(国保)は407千円(偏差値62)、介護給付費は270千円(偏差値54)であり、医療費は高く、介護給付費はやや高い。

【医療の現状】

- *入院医療の充実度： 広島の一人当たり急性期医療密度指数は1.14、一人当たり慢性期医療密度指数は1.95で、急性期の医療は全国平均レベルであるが、慢性期の医療はかなり余裕がある。
- *医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が54(病院医師数52、診療所医師数61)と、総医師数はほぼ全国平均レベルであるが、診療所医師数は多い。総看護師数の偏差値は54とやや多い。
- *一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は48で、一般病床は全国平均レベルである。全身麻酔数の偏差値は54とやや多い。広島には、年間全身麻酔件数が2000例以上の広島市立安佐市民病院(Ⅲ群)、広島市立広島市民病院(Ⅱ群・救命)、県立広島病院(Ⅱ群・救命)、広島大学病院(Ⅰ群・救命)、1000例以上のマツダ病院(Ⅲ群)、広島赤十字・原爆病院(Ⅲ群)、500例以上の広島記念病院(Ⅲ群)、JR広島病院(Ⅲ群)、浜脇整形外科病院(Ⅲ群)、土谷総合病院(Ⅲ群)、中電病院(Ⅲ群)がある。
- *療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は52と療養病床数は全国平均レベルである。
- *リハビリの現状： 総療法士数は偏差値49と全国平均レベルであり、回復期病床数は偏差値51と全国平均レベルである。
- *精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は50で精神病床数は全国平均レベルである。
- *診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は59で診療所数は多い。

【介護施設や在宅ケアの現状】

- *介護施設の現状： 広島の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、18,848人(75歳以上1,000人当たりの偏差値61)と全国平均レベルを上回る。そのうち、介護保険施設の定員が9,794床(偏差値52)、高齢者住宅等が9,054床(偏差値60)である。介護保険施設は全国平均レベルであるが、高齢者住宅等は全国平均レベルを上回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、15,089人(75歳以上1,000人当たりの偏差値68)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを大きく上回る。
施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設47、特別養護老人ホーム48、介護療養型医療施設65、有料老人ホーム53、軽費ホーム48、グループホーム61、サ高住59である。
- *在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値71と非常に多く、在宅療養支援病院は偏差値53とやや多い。また、訪問看護ステーションは偏差値62と多い。介護職員(在宅)の合計は、2,674人(75歳以上1,000人当たりの偏差値58)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。
- *介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数は-22%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

(広島医療圏) 2. 推移

【人口と医療需要】

広島医療圏の総人口は、2005年1,333,953人が、2015年に1,365,134人と2%増加し、2025年の人口が1,365,023人と予測され、2005年→2025年の間に2%程度の増加が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年に16%増加し、2015年から2025年にかけて9%程度の増加が予測される。

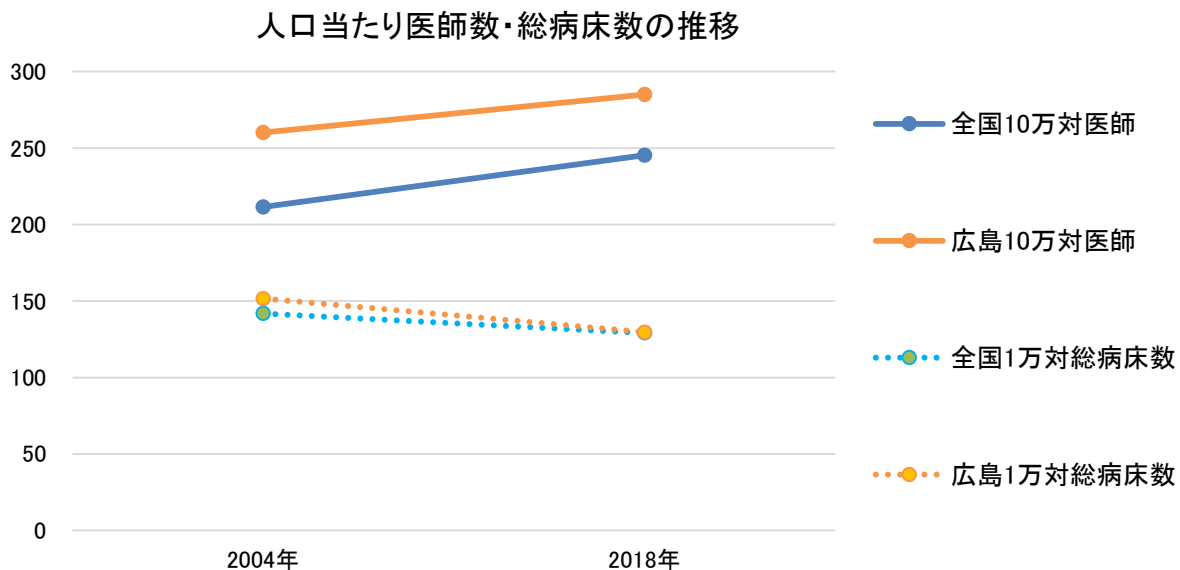
【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数が103(人口10万人当たり7.7病院(全国平均7.1)偏差値52)であったが、2018年に97(人口10万人当たり7.1病院(全国平均6.6)偏差値51)となり、14年間で6病院が減少した。

2004年の診療所数が1,330(人口10万人当たり100診療所(全国平均76)偏差値62)であったが、2018年に1,336(人口10万人当たり98診療所(全国平均80)偏差値59)と、6診療所が増加した。

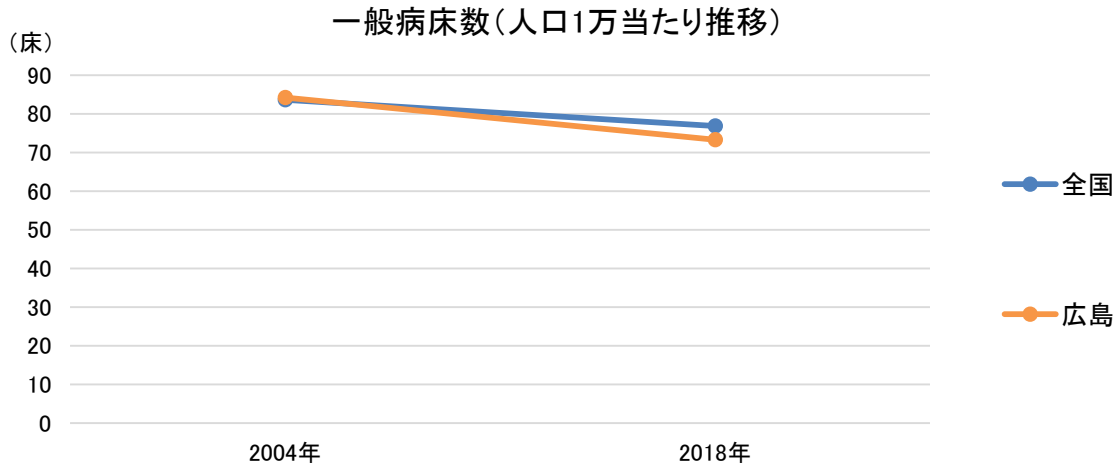
2004年の総病床数が20,223床(人口1万人当たり152(全国平均142)偏差値52)であったが、2018年に17,705床(人口1万人当たり130(全国平均129)偏差値50)と、2,518床の減少、率にして12%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての総医師数が3,472人(人口10万人当たり260人(全国平均212人)偏差値56)であったが、2018年に3,891人(人口10万人当たり285人(全国平均245人)偏差値54)と、419人の増加、率にして12%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。



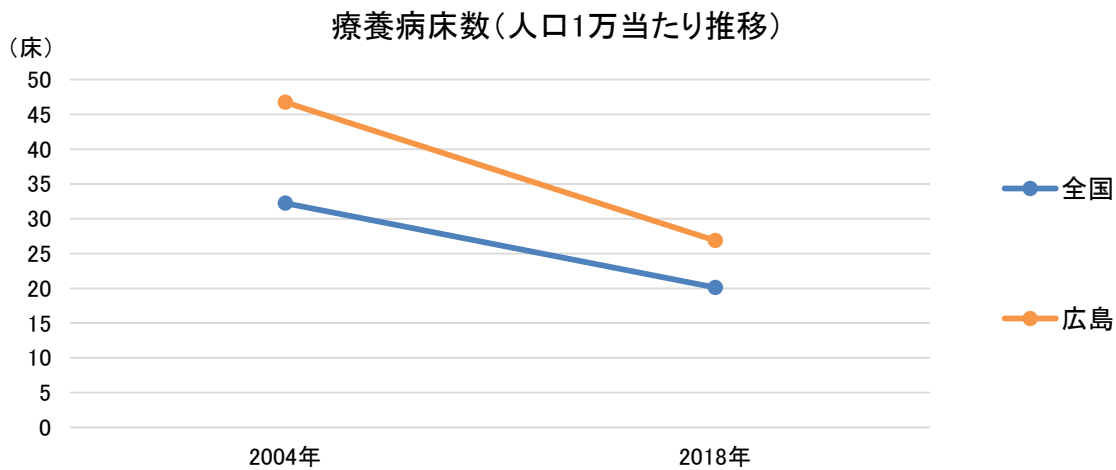
【一般病床の推移】

2004年の一般病床(病院+診療所)が11,237床(人口1万人当たり84(全国平均84)偏差値50)であったが、2018年に10,006床(人口1万人当たり73(全国平均77)偏差値49)と、1,231床の減少、率にして11%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。



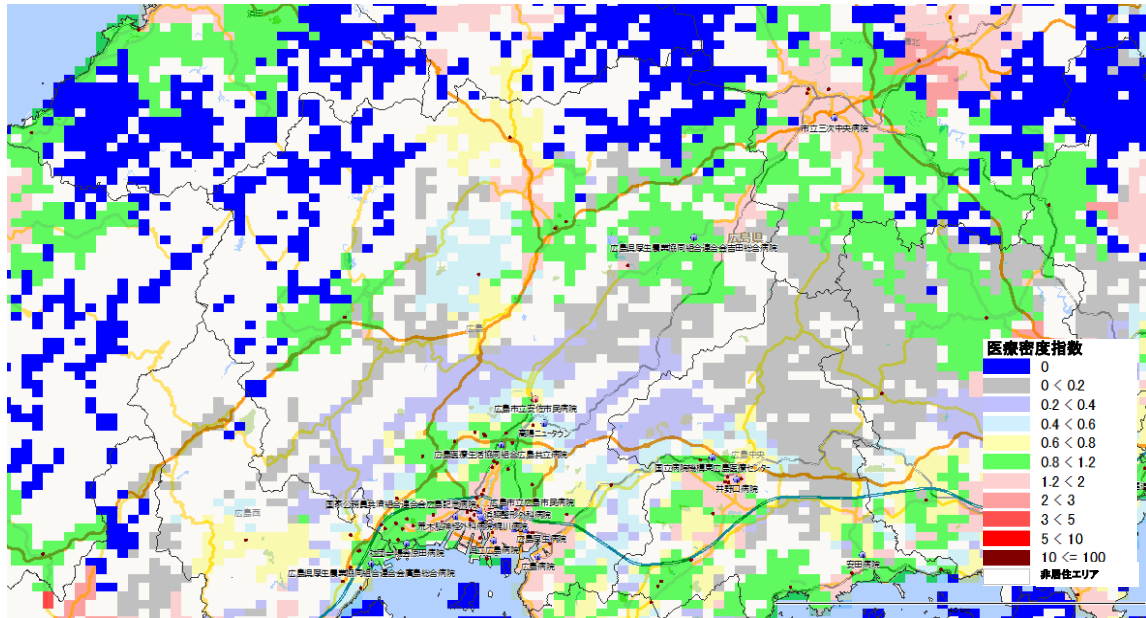
【療養病床の推移】

2004年の療養病床(病院+診療所)が5,055床(75歳以上1,000人当たり47(全国平均32)偏差値58)であったが、2018年に4,107床(75歳以上1,000人当たり27(全国平均20)偏差値56)と、948床の減少、率にして19%の減少(全国平均12%の減少)が見られた。



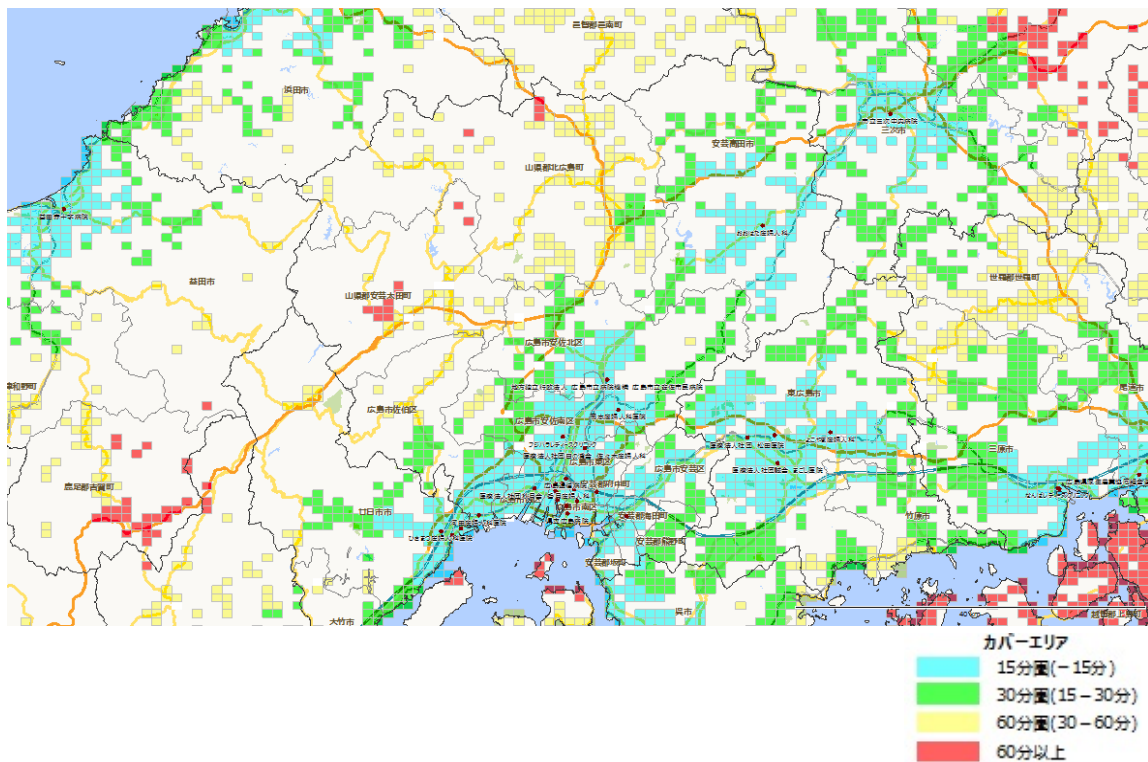
(広島医療圏) 3. 医療密度・周産期カバーエリア

図表34-1-1 急性期医療密度指数マップ



図表34-1-2 分娩医療機関への所用運転時間（カバーエリア）

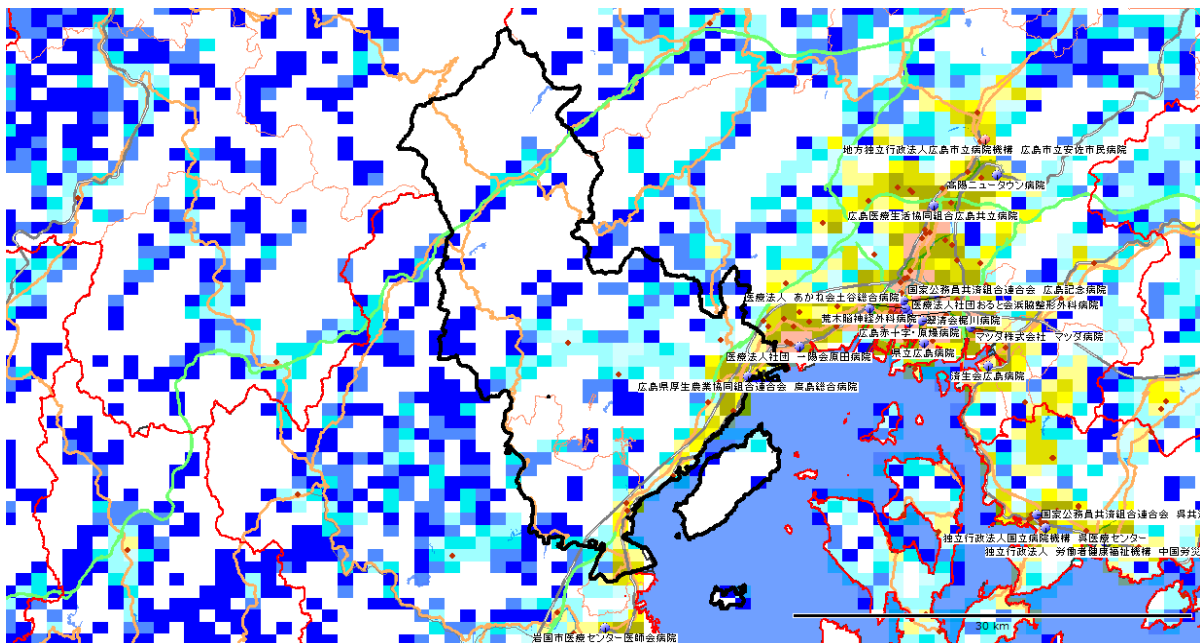
※全国1km²メッシュから最寄りの分娩取扱医療機関（病院と有床診療所）への運転時間を計算し、1km²メッシュの出生数との加重平均を用いて、市町村の平均運転時間を集計したもの（「地域の医療提供体制の現状 - 都道府県別・二次医療圏別データ集 - (2017年度版) 序章参照（日医総研WP no. 400）」）



34-2. ひろしまにし 広島西医療圏

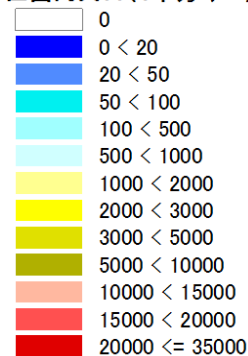
構成市区町村 [大竹市](#)[廿日市市](#)

※日本医師会JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能
<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

人口分布(1km²区画単位)

1km²区画(1km²メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く(10,000人/km²以上)、黄色系統は中間レベル(1,000~10,000人/km²)、青色系統は人口が少ない(1,000人/km²未満)。白色は非居住地。
 出所:国勢調査(平成22年、総務省)地図情報GIS
 Market Analyzer ver. 3.7 地図 PAREAシリーズ

区画内人口(1平方キロ)



DPC病院



(広島西医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 広島西(大竹市)は、総人口約143千人(2015年)、面積568km²、人口密度は251人/km²の地方都市型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 広島西の総人口は2025年に139千人へと減少し(2015年比-3%)、2040年に129千人へと減少する(2025年比-7%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の20千人が、2025年にかけて28千人へと増加し(2015年比+40%)、2040年には29千人へと増加する(2025年比+4%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 広島西の一人当たり医療費(国保)は387千円(偏差値57)、介護給付費は231千円(偏差値43)であり、医療費は高いが、介護給付費は低い。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 広島西の一人当たり急性期医療密度指数は0.76、一人当たり慢性期医療密度指数は1.44で、急性期の医療は少ないが、慢性期の医療は充実している。

*医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が53(病院医師数51、診療所医師数56)と、総医師数はほぼ全国平均レベルであるが、診療所医師数は多い。総看護師数の偏差値は59と多い。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は54で、一般病床はやや多い。全身麻酔数の偏差値は66と非常に多い。広島西には、年間全身麻酔件数が2000例以上の広島総合病院(Ⅲ群・救命)がある。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は70と療養病床数は非常に多い。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値56と多く、回復期病床数は偏差値63と多い。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は54で精神病床数はやや多い。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は54で診療所数はやや多い。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 広島西の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、2,039人(75歳以上1,000人当たりの偏差値49)と全国平均レベルである。そのうち、介護保険施設の定員が1,245床(偏差値51)、高齢者住宅等が794床(偏差値48)である。介護保険施設、高齢者住宅等ともに全国平均レベルである。また、介護職員(介護施設等)の合計は、1,471人(75歳以上1,000人当たりの偏差値46)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや下回る。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設53、特別養護老人ホーム42、介護療養型医療施設71、有料老人ホーム47、軽費ホームなし(偏差値43)、グループホーム47、サ高住54である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値62と多く、在宅療養支援病院は偏差値51と全国平均レベルである。また、訪問看護ステーションは偏差値57と多い。介護職員(在宅)の合計は、362人(75歳以上1,000人当たりの偏差値59)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数は-29%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

(広島西医療圏) 2. 推移

【人口と医療需要】

広島西医療圏の総人口は、2005年145,809人が、2015年に142,771人と2%減少し、2025年の人口が139,271人と予測され、2005年→2025年の間に4%程度の減少が予測されている。

医療の需要（医療費ベース）は、2005年から2015年に12%増加し、2015年から2025年にかけて9%程度の増加が予測される。

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

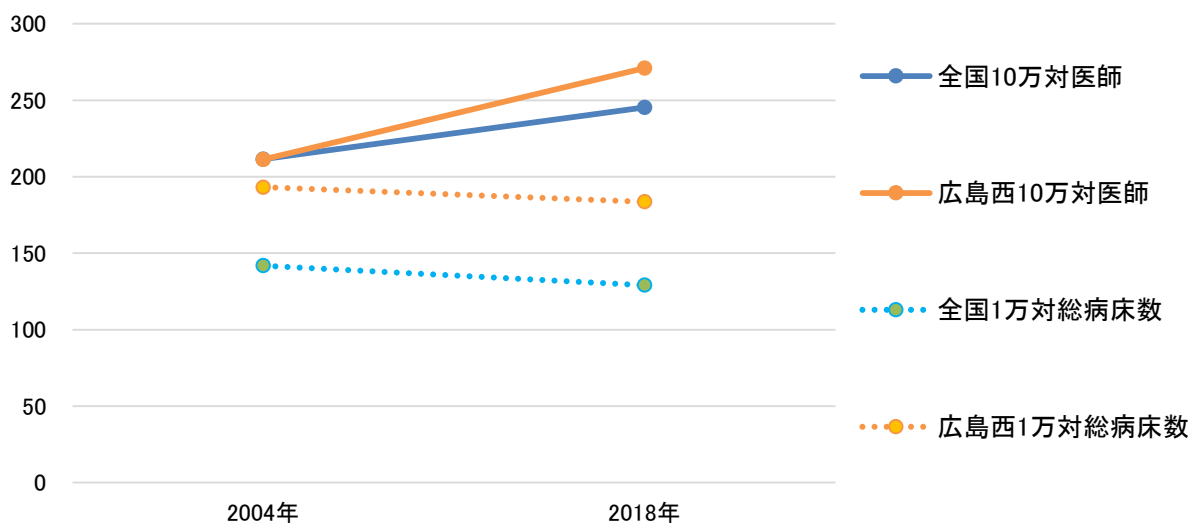
2004年の病院数が14(人口10万人当たり9.6病院(全国平均7.1)偏差値56)であったが、2018年に13(人口10万人当たり9.1病院(全国平均6.6)偏差値56)となり、14年間で1病院が減少した。

2004年の診療所数が127(人口10万人当たり87診療所(全国平均76)偏差値56)であったが、2018年に126(人口10万人当たり88診療所(全国平均80)偏差値54)と、1診療所が減少した。

2004年の総病床数が2,817床(人口1万人当たり193(全国平均142)偏差値59)であったが、2018年に2,623床(人口1万人当たり184(全国平均129)偏差値60)と、194床の減少、率にして7%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての総医師数が308人(人口10万人当たり211人(全国平均212人)偏差値50)であったが、2018年に387人(人口10万人当たり271人(全国平均245人)偏差値53)と、79人の増加、率にして26%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。

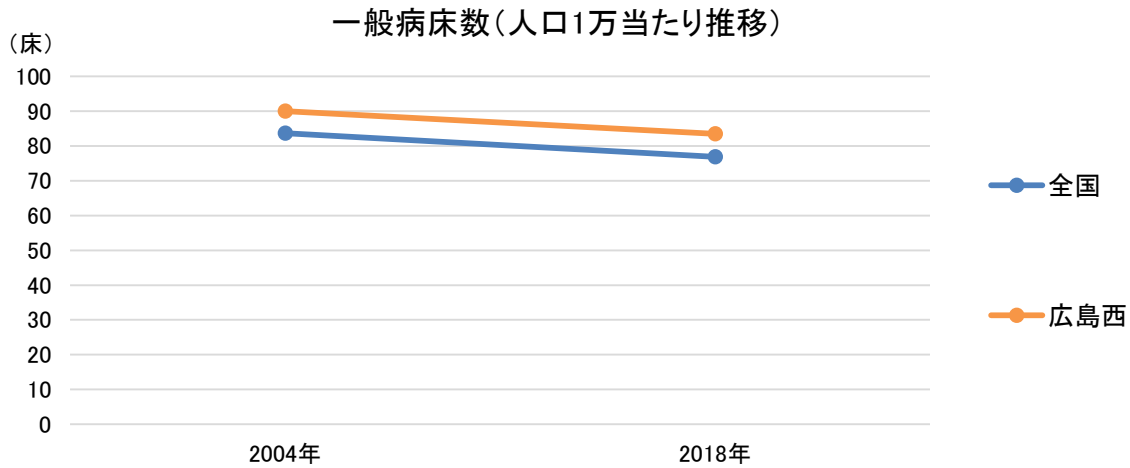
人口当たり医師数・総病床数の推移



34.広島県(2019年版)

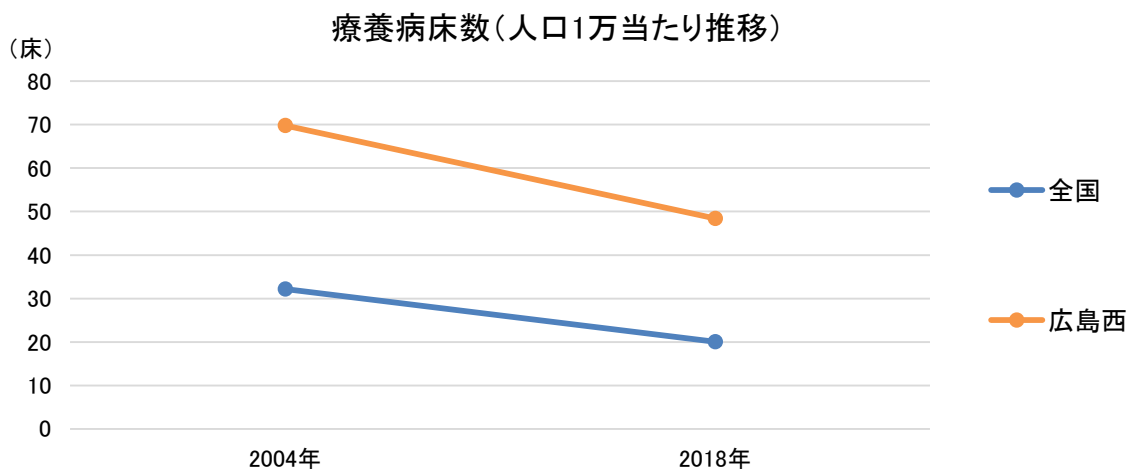
【一般病床の推移】

2004年の一般病床(病院+診療所)が1,312床(人口1万人当たり90(全国平均84)偏差値52)であったが、2018年に1,192床(人口1万人当たり83(全国平均77)偏差値53)と、120床の減少、率にして9%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。



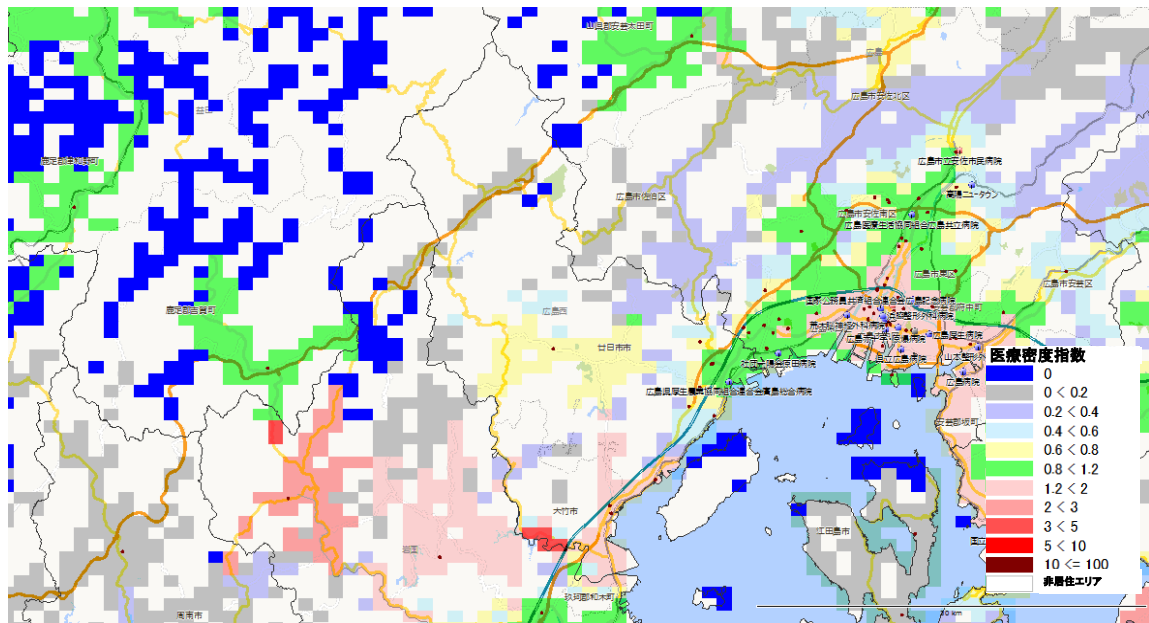
【療養病床の推移】

2004年の療養病床(病院+診療所)が1,029床(75歳以上1,000人当たり70(全国平均32)偏差値71)であったが、2018年に955床(75歳以上1,000人当たり48(全国平均20)偏差値76)と、74床の減少、率にして7%の減少(全国平均12%の減少)が見られた。



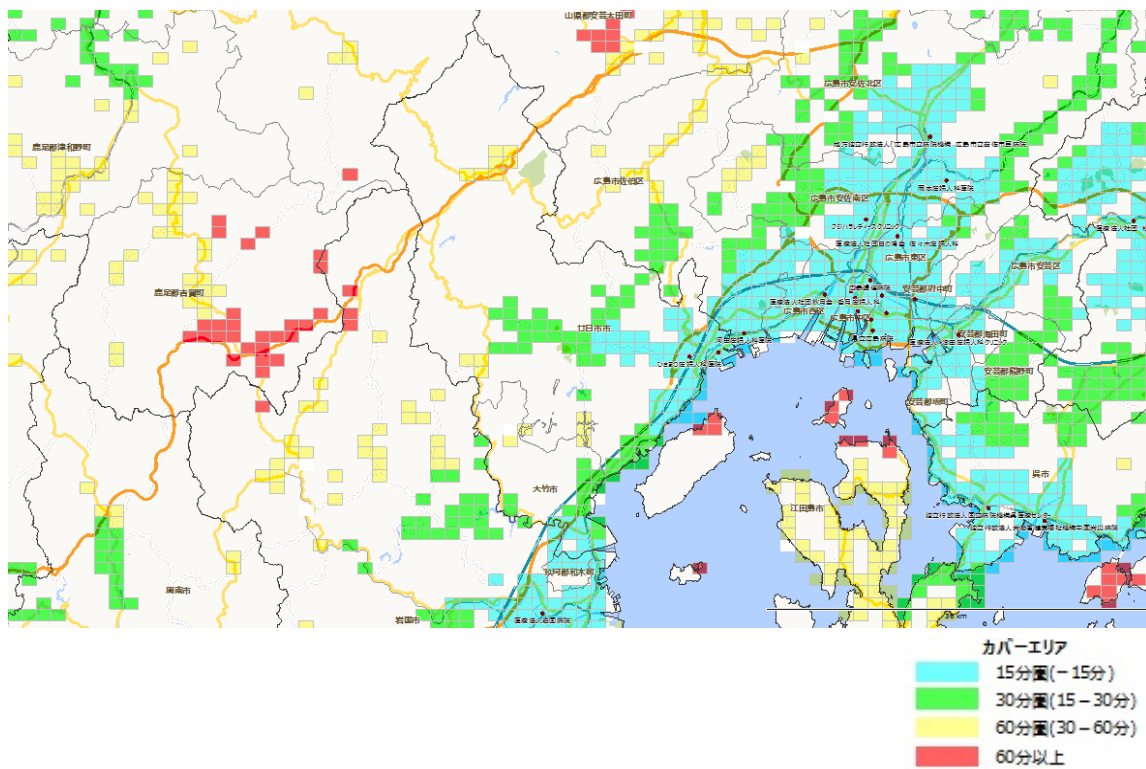
(広島西医療圏) 3. 医療密度・周産期カバーエリア

図表34-2-1 急性期医療密度指数マップ



図表34-2-2 分娩医療機関への所用運転時間(カバーエリア)

※全国1km²メッシュから最寄りの分娩取扱医療機関(病院と有床診療所)への運転時間を計算し、1km²メッシュの出生数との加重平均を用いて、市町村の平均運転時間を集計したもの(「地域の医療提供体制の現状 - 都道府県別・二次医療圏別データ集 - (2017年度版) 序章参照(日医総研WP no. 400))



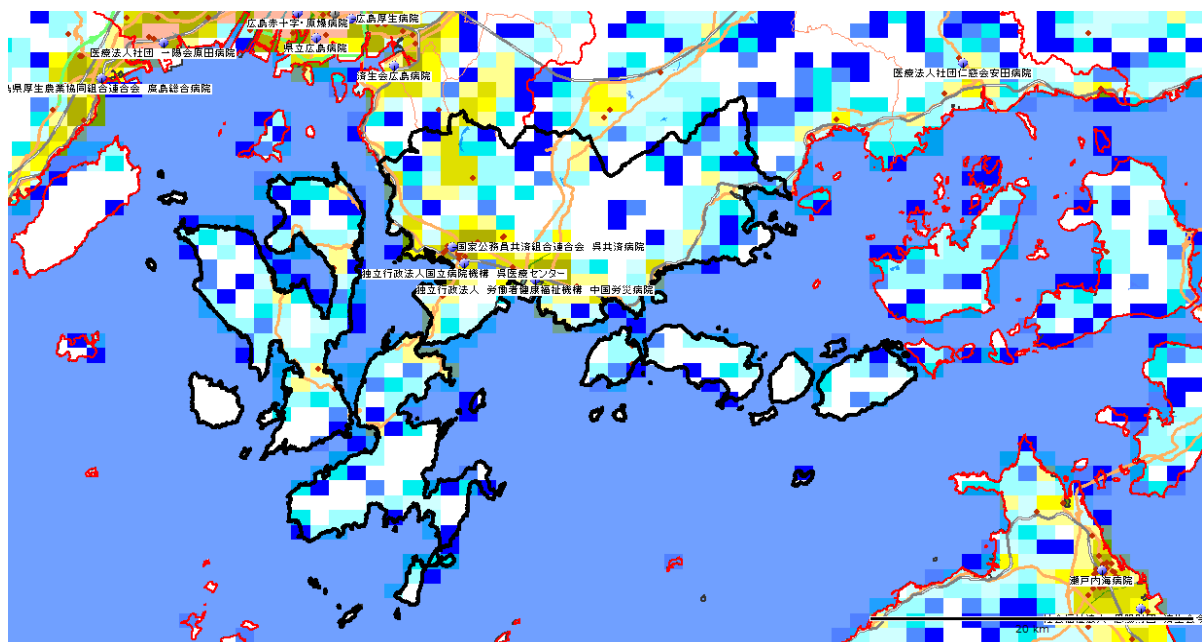
34-3. ^{くれ}呉医療圏

構成市区町村 [呉市](#)

[江田島市](#)

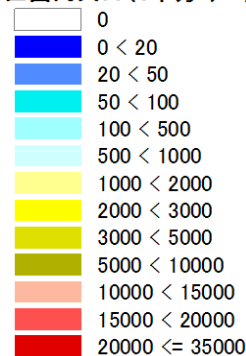
※日本医師会JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能
<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

人口分布(1km²区画単位)



1km²区画(1km²メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く(10,000人/km²以上)、黄色系統は中間レベル(1,000~10,000人/km²)、青色系統は人口が少ない(1,000人/km²未満)。白色は非居住地。
 出所: 国勢調査(平成22年、総務省) 地図情報GIS Market Analyzer ver. 3.7 地図 PAREAシリーズ

区画内人口(1平方キロ)



DPG病院



(呉医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 呉(呉市)は、総人口約253千人(2015年)、面積454km²、人口密度は558人/km²の地方都市型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 呉の総人口は2025年に221千人へと減少し(2015年比-13%)、2040年に174千人へと減少する(2025年比-21%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の43千人が、2025年にかけて51千人へと増加し(2015年比+19%)、2040年には40千人へと減少する(2025年比-22%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 呉の一人当たり医療費(国保)は457千円(偏差値73)、介護給付費は248千円(偏差値48)であり、医療費は非常に高く、介護給付費は全国平均レベルである。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 呉の一人当たり急性期医療密度指数は1.14、一人当たり慢性期医療密度指数は1.24で、急性期の医療は全国平均レベルであるが、慢性期の医療は充実している。

*医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が56(病院医師数55、診療所医師数57)と、総医師数、診療所医師数は多い。総看護師数の偏差値は62と多い。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は61で、一般病床は多い。全身麻酔数の偏差値は55とやや多い。呉には、年間全身麻酔件数が2000例以上の中国労災病院(Ⅲ群)、NHQ呉医療センター(Ⅱ群・救命)、1000例以上の呉共済病院(Ⅲ群)がある。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は54と療養病床数はやや多い。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値55とやや多く、回復期病床数は偏差値51と全国平均レベルである。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は63で精神病床数は多い。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は59で診療所数は多い。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 呉の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、3,776人(75歳以上1,000人当たりの偏差値39)と全国平均レベルを下回る。そのうち、介護保険施設の定員が2,823床(偏差値53)、高齢者住宅等が953床(偏差値36)である。介護保険施設は全国平均レベルをやや上回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルを下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、3,286人(75歳以上1,000人当たりの偏差値47)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや下回る。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設60、特別養護老人ホーム46、介護療養型医療施設55、有料老人ホーム38、軽費ホーム50、グループホーム43、サ高住43である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値54とやや多く、在宅療養支援病院は偏差値53とやや多い。また、訪問看護ステーションは偏差値42と少ない。介護職員(在宅)の合計は、512人(75歳以上1,000人当たりの偏差値47)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや下回る。

*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数は-19%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

(呉医療圏) 2. 推移

【人口と医療需要】

呉医療圏の総人口は、2005年280,942人が、2015年に252,891人と10%減少し、2025年の人口が221,255人と予測され、2005年→2025年の間に21%程度の減少が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年に3%増加し、2015年から2025年にかけて6%程度の減少が予測される。

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

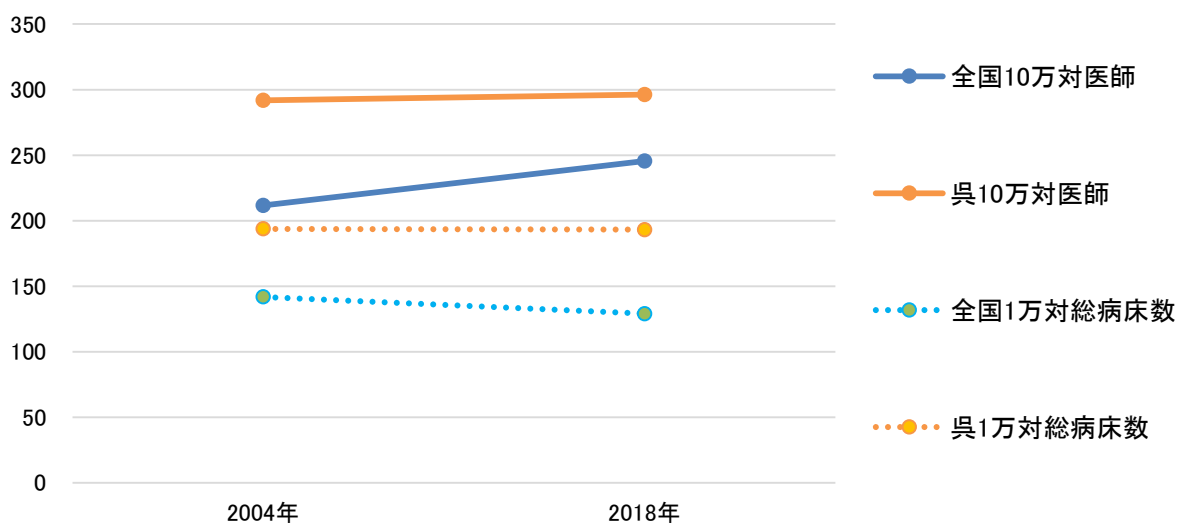
2004年の病院数が35(人口10万人当たり12.5病院(全国平均7.1)偏差値64)であったが、2018年に30(人口10万人当たり11.9病院(全国平均6.6)偏差値63)となり、14年間で5病院が減少した。

2004年の診療所数が297(人口10万人当たり106診療所(全国平均76)偏差値65)であったが、2018年に246(人口10万人当たり97診療所(全国平均80)偏差値59)と、51診療所が減少した。

2004年の総病床数が5,444床(人口1万人当たり194(全国平均142)偏差値59)であったが、2018年に4,886床(人口1万人当たり193(全国平均129)偏差値62)と、558床の減少、率にして10%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。

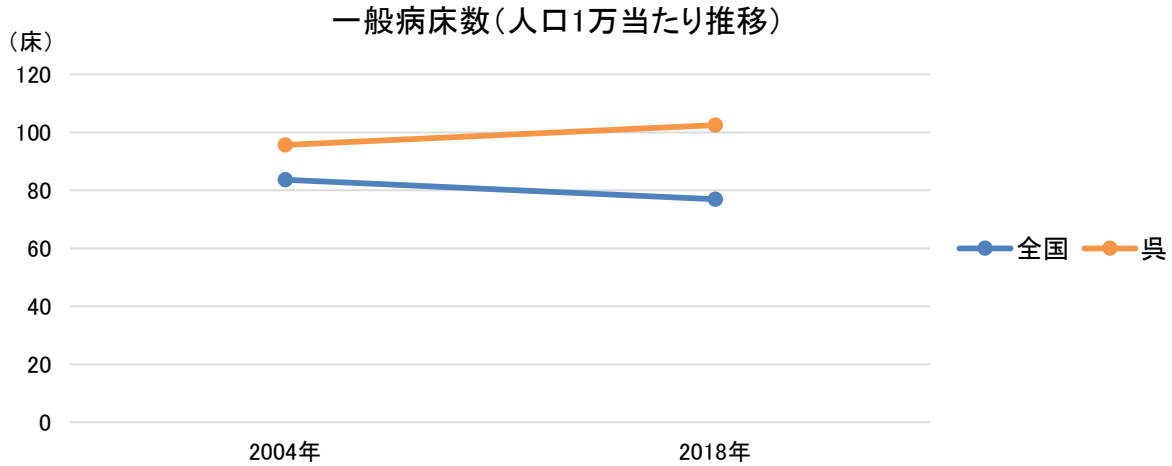
2004年には病院と診療所合わせての総医師数が820人(人口10万人当たり292人(全国平均212人)偏差値60)であったが、2018年に749人(人口10万人当たり296人(全国平均245人)偏差値56)と、71人の減少、率にして9%の減少(全国平均15%の増加)が見られた。

人口当たり医師数・総病床数の推移



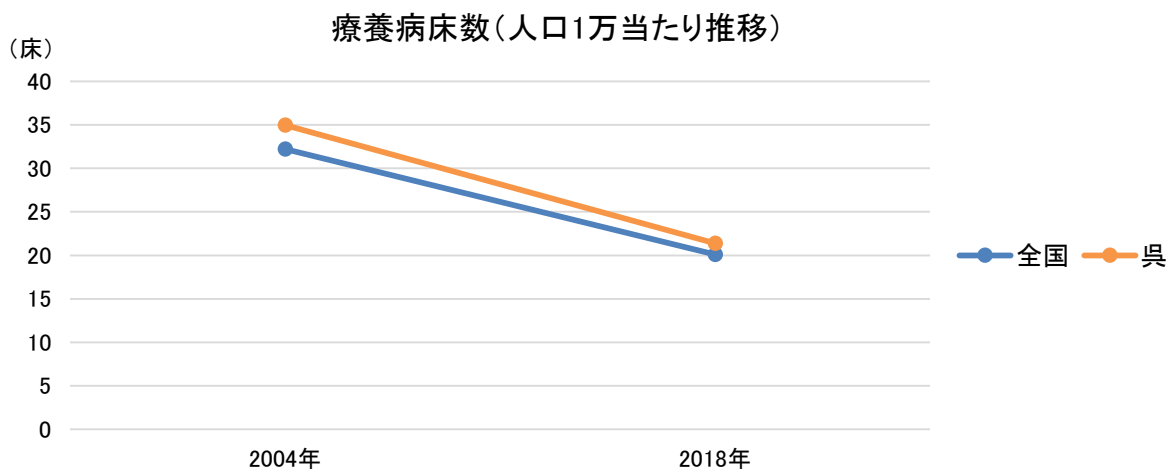
【一般病床の推移】

2004年の一般病床(病院+診療所)が2,688床(人口1万人当たり96(全国平均84)偏差値54)であったが、2018年に2,593床(人口1万人当たり103(全国平均77)偏差値60)と、95床の減少、率にして4%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。



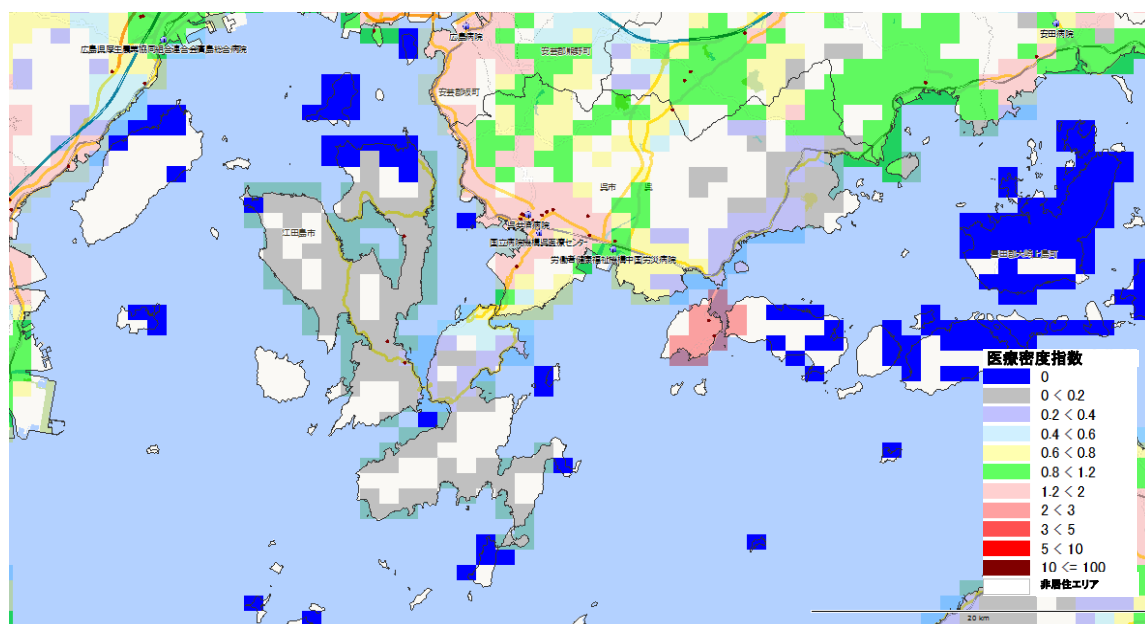
【療養病床の推移】

2004年の療養病床(病院+診療所)が1,258床(75歳以上1,000人当たり35(全国平均32)偏差値52)であったが、2018年に927床(75歳以上1,000人当たり21(全国平均20)偏差値51)と、331床の減少、率にして26%の減少(全国平均12%の減少)が見られた。



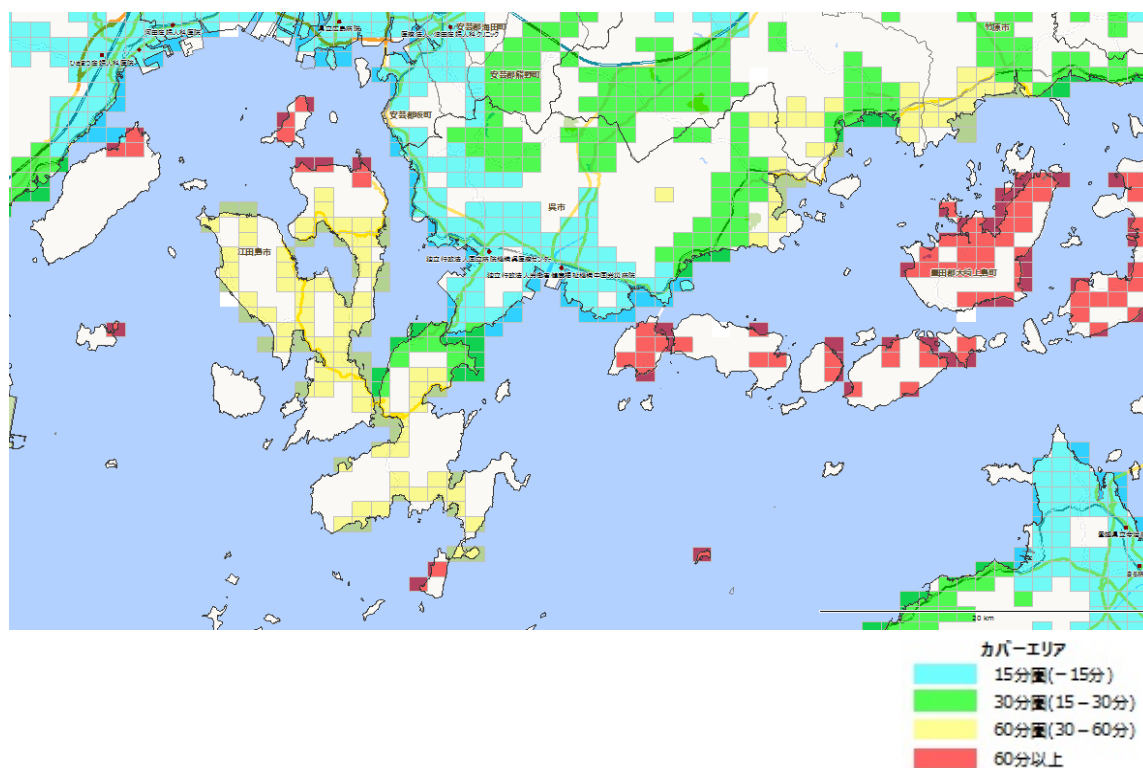
(呉医療圏) 3. 医療密度・周産期カバーエリア

図表34-3-1 急性期医療密度指数マップ



図表34-3-2 分娩医療機関への所用運転時間(カバーエリア)

※全国1km²メッシュから最寄りの分娩取扱医療機関(病院と有床診療所)への運転時間を計算し、1km²メッシュの出生数との加重平均を用いて、市町村の平均運転時間を集計したもの(「地域の医療提供体制の現状 - 都道府県別・二次医療圏別データ集 - (2017年度版) 序章参照(日医総研WP no. 400))

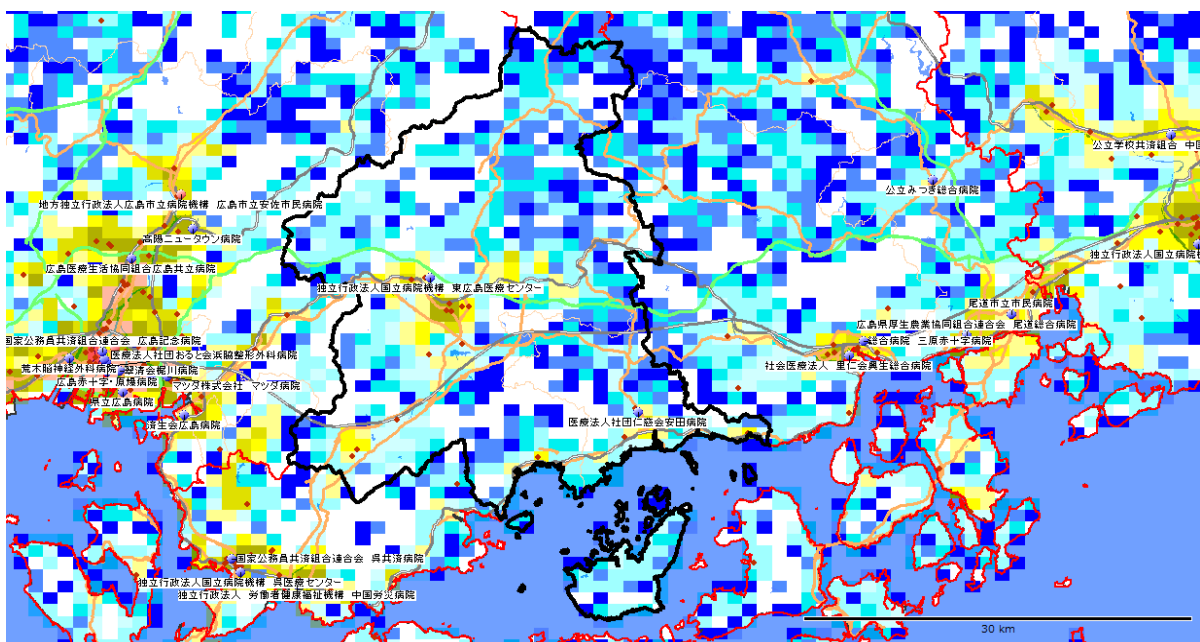


34-4. ひろしまちゅうおう 広島中央医療圏

構成市区町村

[竹原市](#)[東広島市](#)[大崎上島町](#)

※日本医師会JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能
<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

人口分布(1km²区画単位)

1km²区画(1km²メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く(10,000人/km²以上)、黄色系統は中間レベル(1,000~10,000人/km²)、青色系統は人口が少ない(1,000人/km²未満)。白色は非居住地。
 出所: 国勢調査(平成22年、総務省)地図情報GIS Market Analyzer ver. 3.7 地図 PAREAシリーズ

区画内人口(1平方キロ)



DPC病院

● I群

● II群

● III群

● 一般病院

(広島中央医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 広島中央(竹原市)は、総人口約227千人(2015年)、面積797km²、人口密度は285人/km²の地方都市型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 広島中央の総人口は2025年に223千人へと減少し(2015年比-2%)、2040年に207千人へと減少する(2025年比-7%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の27千人が、2025年にかけて36千人へと増加し(2015年比+33%)、2040年には37千人へと増加する(2025年比+3%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 広島中央の一人当たり医療費(国保)は387千円(偏差値57)、介護給付費は250千円(偏差値49)であり、医療費は高く、介護給付費は全国平均レベルである。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 広島中央の一人当たり急性期医療密度指数は0.83、一人当たり慢性期医療密度指数は1.32で、急性期の医療は全国平均レベルであるが、慢性期の医療は充実している。

*医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が45(病院医師数44、診療所医師数49)と、総医師数はほぼ全国平均レベルであるが、病院医師数は少ない。総看護師数の偏差値は52と全国平均レベルである。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は52で、一般病床は全国平均レベルである。全身麻酔数の偏差値は42と少ない。広島中央には、年間全身麻酔件数が1000例以上のNHQ東広島医療センター(Ⅲ群)がある。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は53と療養病床数はやや多い。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値56と多く、回復期病床数は偏差値44と少ない。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は57で精神病床数は多い。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は47で診療所数はやや少ない。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 広島中央の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、2,714人(75歳以上1,000人当たりの偏差値48)と全国平均レベルである。そのうち、介護保険施設の定員が1,771床(偏差値54)、高齢者住宅等が943床(偏差値45)である。介護保険施設は全国平均レベルをやや上回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルをやや下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、2,570人(75歳以上1,000人当たりの偏差値66)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを大きく上回る。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設49、特別養護老人ホーム53、介護療養型医療施設58、有料老人ホーム45、軽費ホーム49、グループホーム42、サ高住52である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値72と非常に多く、在宅療養支援病院は偏差値58と多い。また、訪問看護ステーションは偏差値62と多い。介護職員(在宅)の合計は、193人(75歳以上1,000人当たりの偏差値38)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数は-21%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

(広島中央医療圏) 2. 推移

【人口と医療需要】

広島中央医療圏の総人口は、2005年224,323人が、2015年に227,325人と1%増加し、2025年の人口が222,939人と予測され、2005年→2025年の間に1%程度の減少が予測されている。

医療の需要（医療費ベース）は、2005年から2015年に12%増加し、2015年から2025年にかけて6%程度の増加が予測される。

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

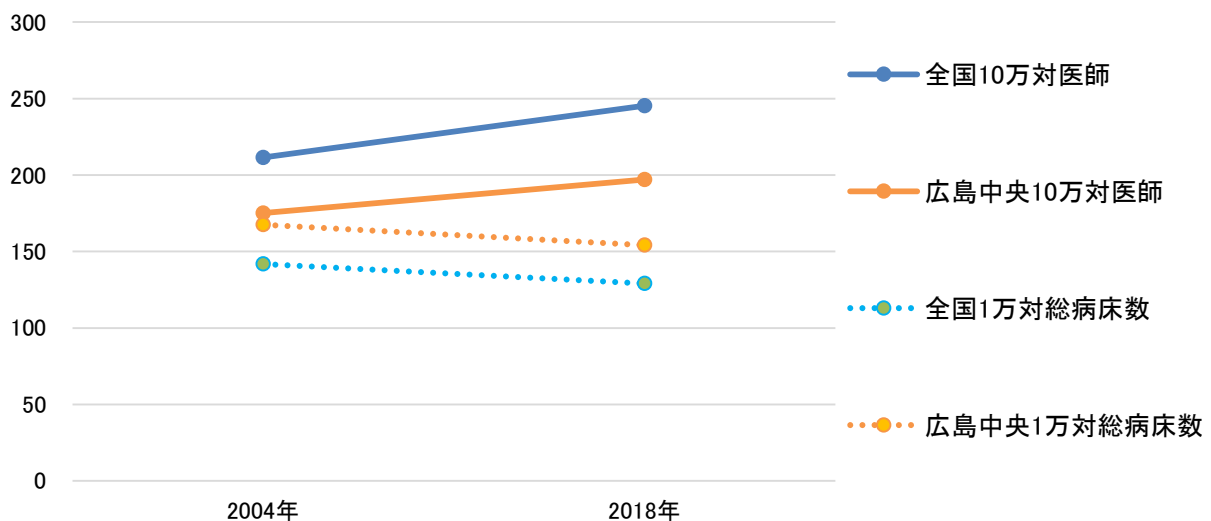
2004年の病院数が21(人口10万人当たり9.4病院(全国平均7.1)偏差値56)であったが、2018年に20(人口10万人当たり8.8病院(全国平均6.6)偏差値56)となり、14年間で1病院が減少した。

2004年の診療所数が166(人口10万人当たり74診療所(全国平均76)偏差値49)であったが、2018年に168(人口10万人当たり74診療所(全国平均80)偏差値47)と、2診療所が増加した。

2004年の総病床数が3,760床(人口1万人当たり168(全国平均142)偏差値55)であったが、2018年に3,506床(人口1万人当たり154(全国平均129)偏差値55)と、254床の減少、率にして7%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての総医師数が393人(人口10万人当たり175人(全国平均212人)偏差値46)であったが、2018年に448人(人口10万人当たり197人(全国平均245人)偏差値45)と、55人の増加、率にして14%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。

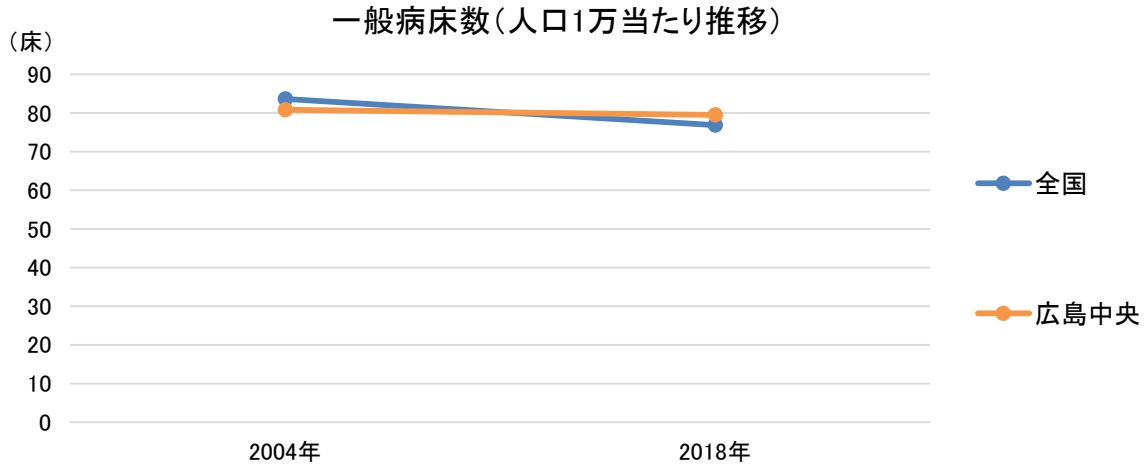
人口当たり医師数・総病床数の推移



34.広島県(2019年版)

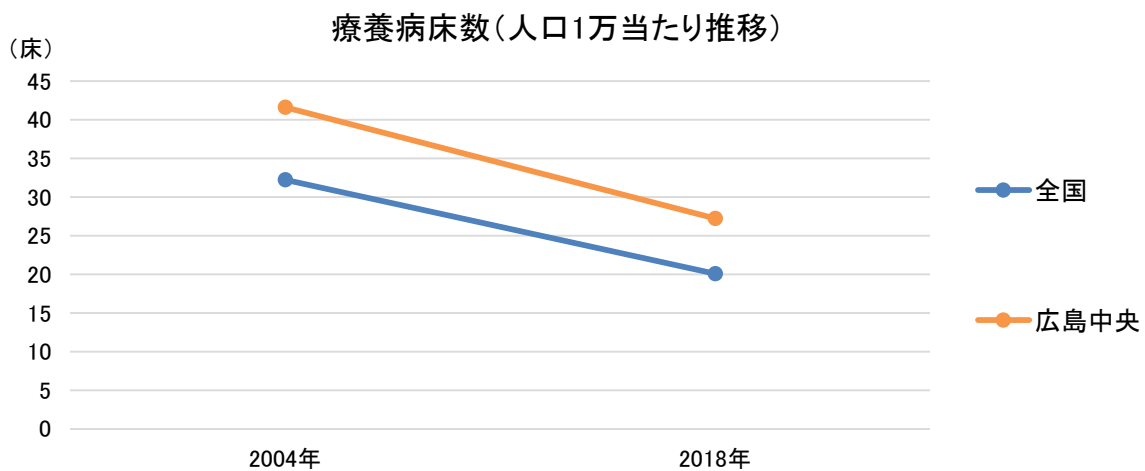
【一般病床の推移】

2004年の一般病床(病院+診療所)が1,814床(人口1万人当たり81(全国平均84)偏差値49)であったが、2018年に1,808床(人口1万人当たり80(全国平均77)偏差値51)と、6床の減少、率にして1%未満の減少(全国平均9%の減少)が見られた。



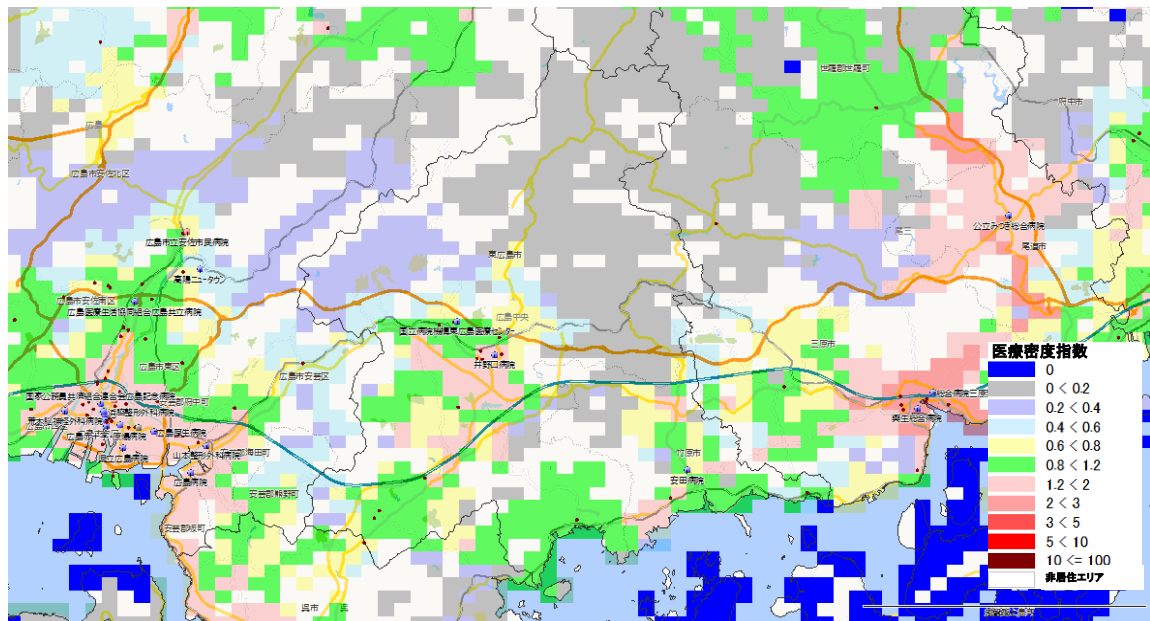
【療養病床の推移】

2004年の療養病床(病院+診療所)が888床(75歳以上1,000人当たり42(全国平均32)偏差値55)であったが、2018年に724床(75歳以上1,000人当たり27(全国平均20)偏差値56)と、164床の減少、率にして18%の減少(全国平均12%の減少)が見られた。



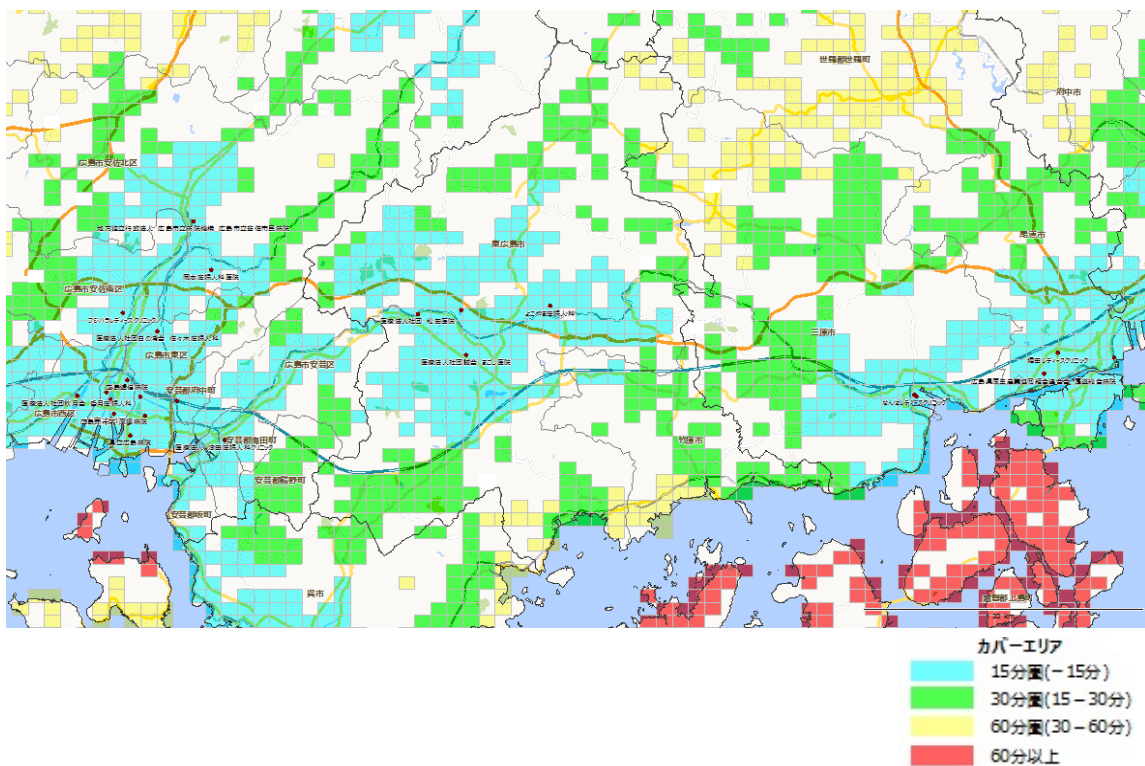
(広島中央医療圏) 3. 医療密度・周産期カバーエリア

図表34-4-1 急性期医療密度指数マップ



図表34-4-2 分娩医療機関への所用運転時間(カバーエリア)

※全国1km²メッシュから最寄りの分娩取扱医療機関(病院と有床診療所)への運転時間を計算し、1km²メッシュの出生数との加重平均を用いて、市町村の平均運転時間を集計したもの(「地域の医療提供体制の現状 - 都道府県別・二次医療圏別データ集 - (2017年度版) 序章参照(日医総研WP no. 400))

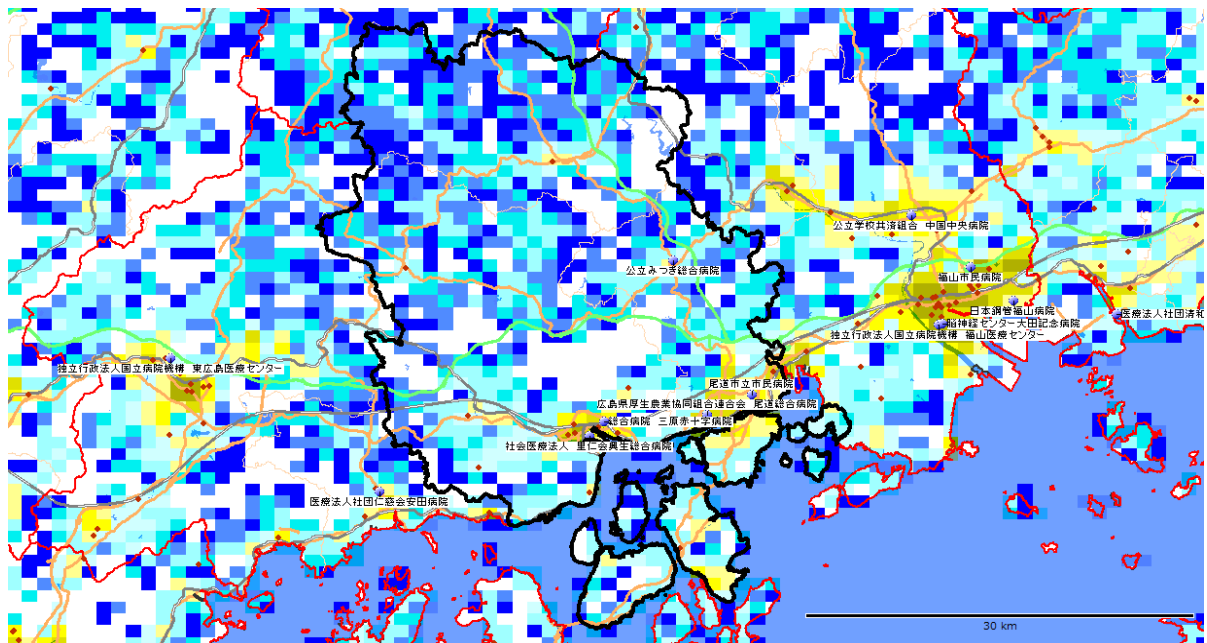


34-5. びさん 尾三医療圏

構成市区町村 [三原市](#) [尾道市](#) [世羅町](#)

※日本医師会JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能
<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

人口分布(1km²区画単位)



1km²区画(1km²メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く(10,000人/km²以上)、黄色系統は中間レベル(1,000~10,000人/km²)、青色系統は人口が少ない(1,000人/km²未満)。白色は非居住地。
 出所: 国勢調査(平成22年、総務省)地図情報GIS Market Analyzer ver. 3.7 地図 PAREAシリーズ

区画内人口(1平方キロ)



DPG病院



(尾三医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 尾三(三原市)は、総人口約251千人(2015年)、面積1,035km²、人口密度は243人/km²の地方都市型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 尾三の総人口は2025年に225千人へと減少し(2015年比-10%)、2040年に184千人へと減少する(2025年比-18%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の45千人が、2025年にかけて52千人へと増加し(2015年比+16%)、2040年には47千人へと減少する(2025年比-10%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 尾三の一人当たり医療費(国保)は407千円(偏差値62)、介護給付費は284千円(偏差値58)であり、医療費、介護給付費ともに高い。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 尾三の一人当たり急性期医療密度指数は1.09、一人当たり慢性期医療密度指数は1.01で、急性期の医療も慢性期の医療も全国平均レベルである。

*医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が47(病院医師数47、診療所医師数50)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数ともにほぼ全国平均レベルである。総看護師数の偏差値は62と多い。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は63で、一般病床は多い。全身麻酔数の偏差値は47とやや少ない。尾三には、年間全身麻酔件数が2000例以上の尾道総合病院(Ⅲ群・救命)、500例以上の尾道市立市民病院(Ⅲ群)がある。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は55と療養病床数はやや多い。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値59と多く、回復期病床数は偏差値53とやや多い。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は55で精神病床数はやや多い。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は50で診療所数は全国平均レベルである。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 尾三の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、4,635人(75歳以上1,000人当たりの偏差値49)と全国平均レベルである。そのうち、介護保険施設の定員が3,031床(偏差値55)、高齢者住宅等が1,604床(偏差値45)である。介護保険施設は全国平均レベルをやや上回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルをやや下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、3,707人(75歳以上1,000人当たりの偏差値53)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや上回る。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設63、特別養護老人ホーム45、介護療養型医療施設59、有料老人ホーム43、軽費ホーム51、グループホーム47、サ高住51である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値62と多く、在宅療養支援病院は偏差値50と全国平均レベルである。また、訪問看護ステーションは偏差値45とやや少ない。介護職員(在宅)の合計は、410人(75歳以上1,000人当たりの偏差値42)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数は-5%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数ではほぼ対応可能である。

(尾三医療圏) 2. 推移

【人口と医療需要】

尾三医療圏の総人口は、2005年273,287人が、2015年に251,157人と8%減少し、2025年の人口が225,057人と予測され、2005年→2025年の間に18%程度の減少が予測されている。

医療の需要（医療費ベース）は、2005年から2015年に3%増加し、2015年から2025年にかけて2%程度の減少が予測される。

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

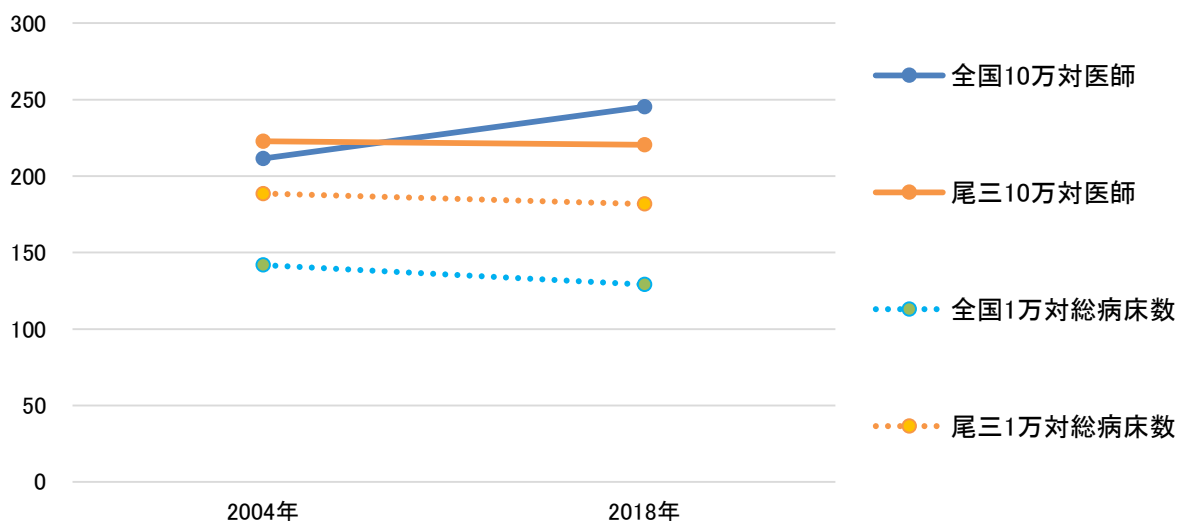
2004年の病院数が26(人口10万人当たり9.5病院(全国平均7.1)偏差値56)であったが、2018年に24(人口10万人当たり9.6病院(全国平均6.6)偏差値58)となり、14年間で2病院が減少した。

2004年の診療所数が239(人口10万人当たり87診療所(全国平均76)偏差値56)であったが、2018年に201(人口10万人当たり80診療所(全国平均80)偏差値50)と、38診療所が減少した。

2004年の総病床数が5,153床(人口1万人当たり189(全国平均142)偏差値58)であったが、2018年に4,566床(人口1万人当たり182(全国平均129)偏差値60)と、587床の減少、率にして11%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。

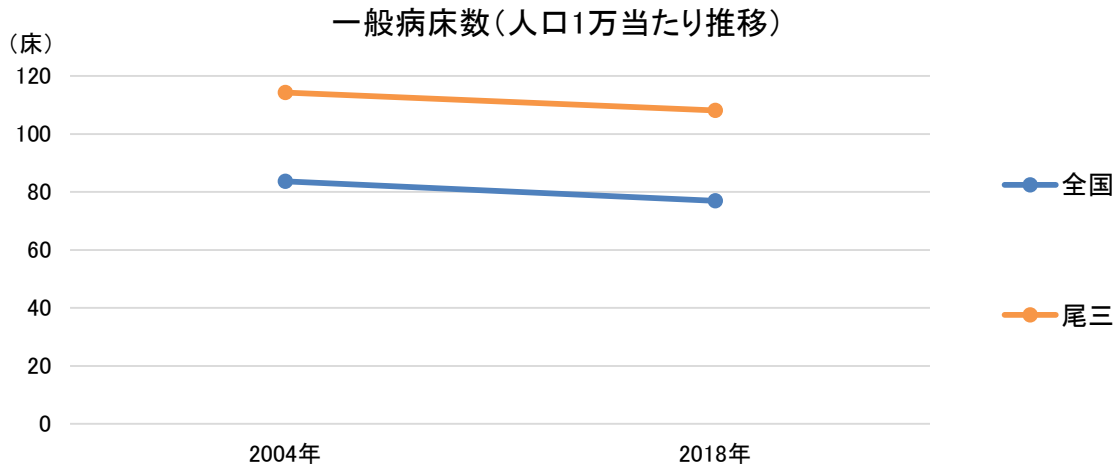
2004年には病院と診療所合わせての総医師数が609人(人口10万人当たり223人(全国平均212人)偏差値51)であったが、2018年に554人(人口10万人当たり221人(全国平均245人)偏差値47)と、55人の減少、率にして9%の減少(全国平均15%の増加)が見られた。

人口当たり医師数・総病床数の推移



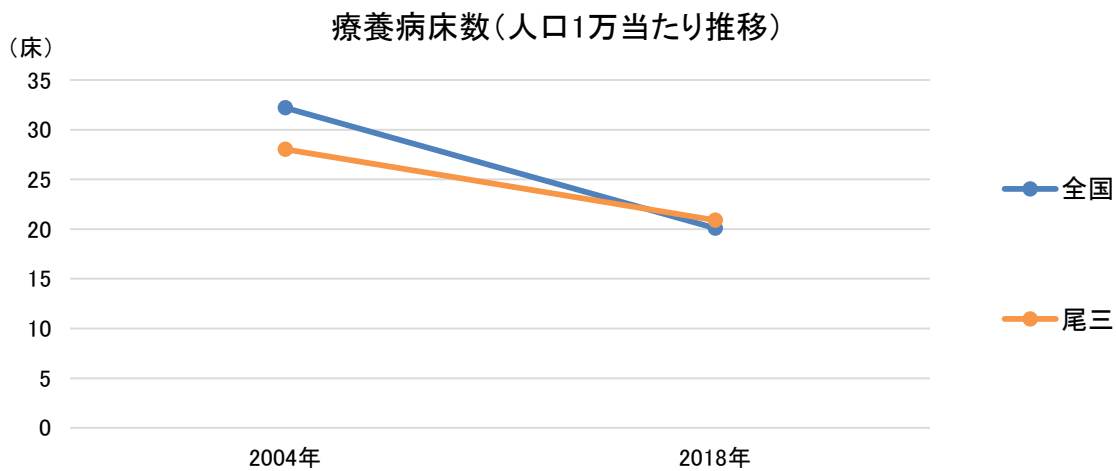
【一般病床の推移】

2004年の一般病床(病院+診療所)が3,122床(人口1万人当たり114(全国平均84)偏差値61)であったが、2018年に2,715床(人口1万人当たり108(全国平均77)偏差値62)と、407床の減少、率にして13%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。



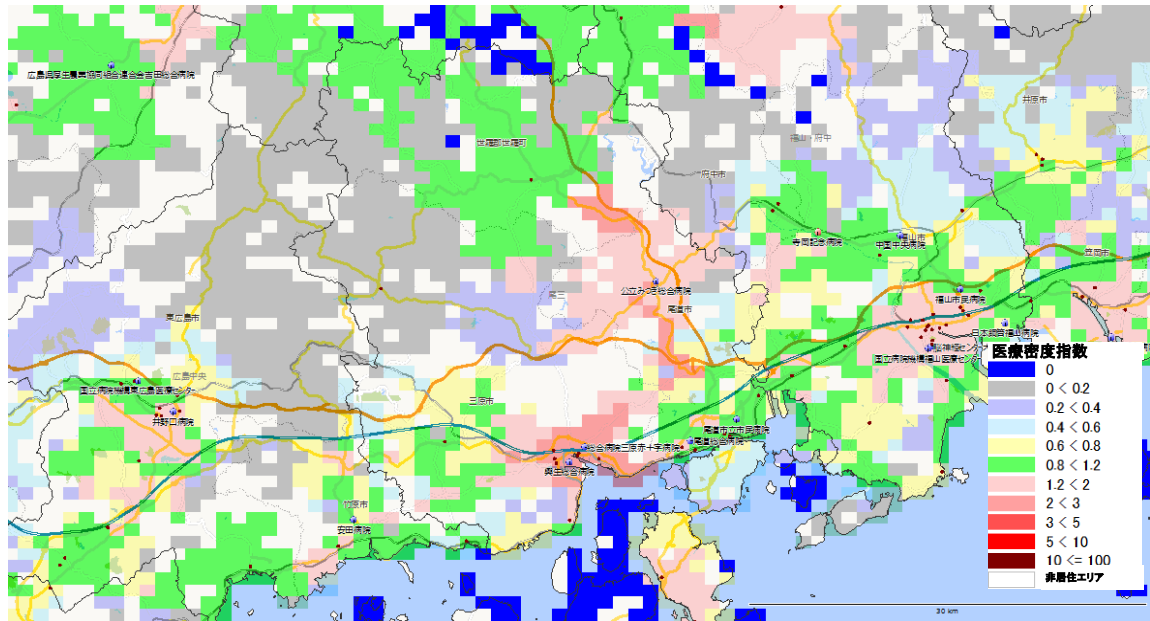
【療養病床の推移】

2004年の療養病床(病院+診療所)が1,070床(75歳以上1,000人当たり28(全国平均32)偏差値48)であったが、2018年に934床(75歳以上1,000人当たり21(全国平均20)偏差値51)と、136床の減少、率にして13%の減少(全国平均12%の減少)が見られた。



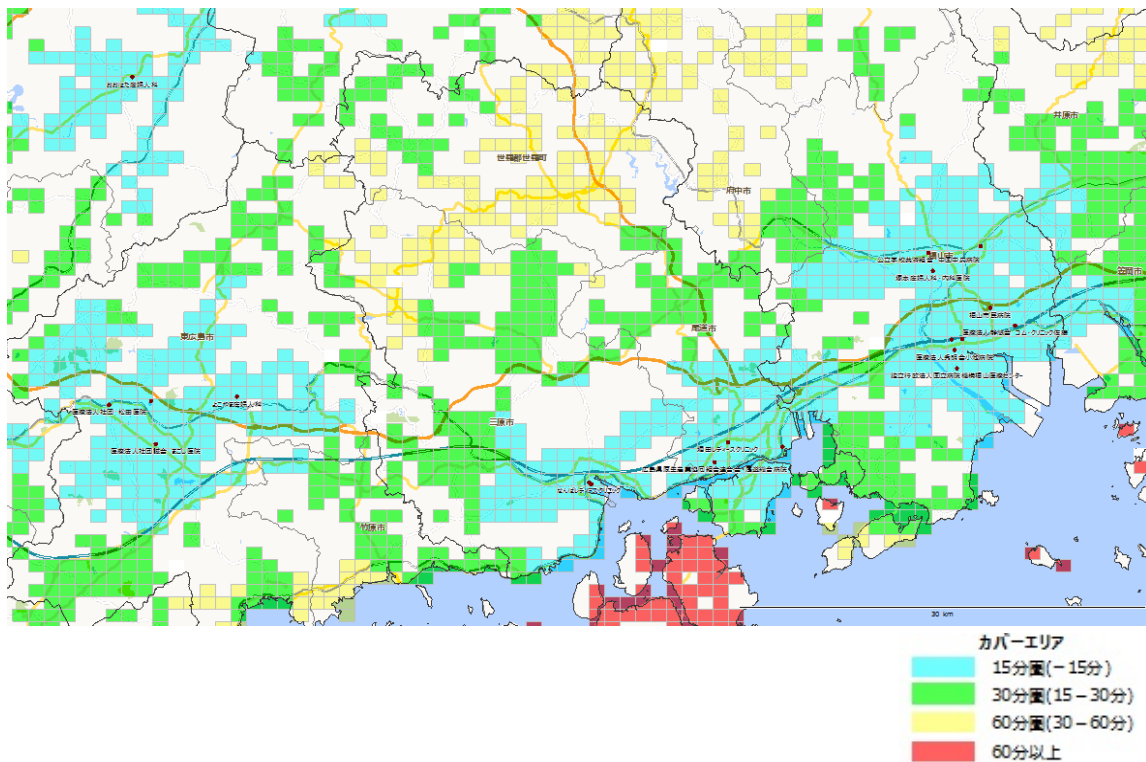
(尾三医療圏) 3. 医療密度・周産期カバーエリア

図表34-5-1 急性期医療密度指数マップ



図表34-5-2 分娩医療機関への所用運転時間（カバーエリア）

※全国1km²メッシュから最寄りの分娩取扱医療機関（病院と有床診療所）への運転時間を計算し、1km²メッシュの出生数との加重平均を用いて、市町村の平均運転時間を集計したもの（「地域の医療提供体制の現状 - 都道府県別・二次医療圏別データ集 - (2017年度版) 序章参照（日医総研WP no. 400）」）

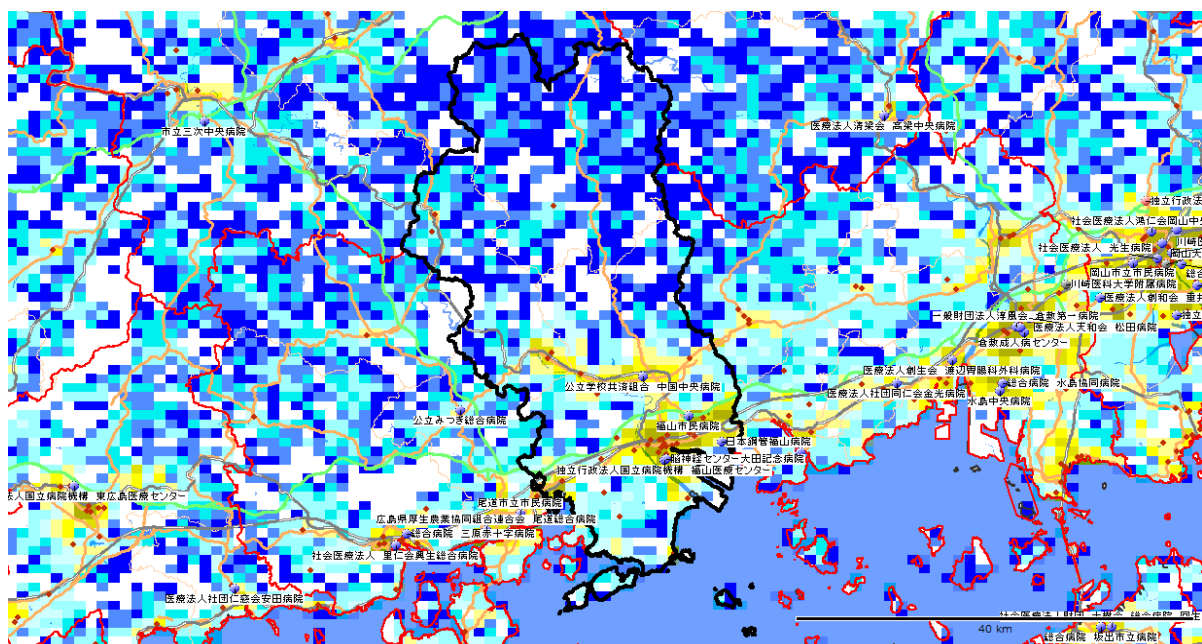


34-6. ふくやま ふちゅう 福山・府中医療圏

構成市区町村 [福山市](#) [府中市](#) [神石高原町](#)

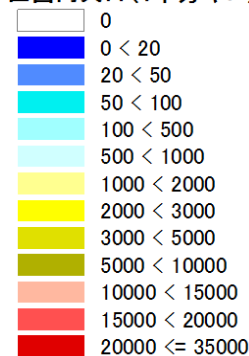
※日本医師会JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能
<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

人口分布(1km²区画単位)



1km²区画(1km²メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く(10,000人/km²以上)、黄色系統は中間レベル(1,000~10,000人/km²)、青色系統は人口が少ない(1,000人/km²未満)。白色は非居住地。
 出所: 国勢調査(平成22年、総務省)地図情報GIS Market Analyzer ver. 3.7 地図 PAREAシリーズ

区画内人口(1平方キロ)



DPG病院



(福山・府中医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 福山・府中(福山市)は、総人口約514千人(2015年)、面積1,096km²、人口密度は469人/km²の地方都市型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 福山・府中の総人口は2025年に506千人へと減少し(2015年比-2%)、2040年に473千人へと減少する(2025年比-7%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の69千人が、2025年にかけて92千人へと増加し(2015年比+33%)、2040年には90千人へと減少する(2025年比-2%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 福山・府中の一人当たり医療費(国保)は365千円(偏差値52)、介護給付費は263千円(偏差値52)であり、医療費、介護給付費ともに全国平均レベルである。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 福山・府中の一人当たり急性期医療密度指数は1.06、一人当たり慢性期医療密度指数は3.04で、急性期の医療は全国平均レベルであるが、慢性期の医療はかなり余裕がある。

*医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が45(病院医師数44、診療所医師数49)と、総医師数はほぼ全国平均レベルであるが、病院医師数は少ない。総看護師数の偏差値は48と全国平均レベルである。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は50で、一般病床は全国平均レベルである。全身麻酔数の偏差値は43と少ない。福山・府中には、年間全身麻酔件数が2000例以上のNH0福山医療センター(Ⅲ群)、福山市民病院(Ⅱ群・救命)がある。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は50と療養病床数は全国平均レベルである。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値53とやや多く、回復期病床数は偏差値56と多い。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は52で精神病床数は全国平均レベルである。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は47で診療所数はやや少ない。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 福山・府中の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、7,893人(75歳以上1,000人当たりの偏差値55)と全国平均レベルをやや上回る。そのうち、介護保険施設の定員が3,983床(偏差値47)、高齢者住宅等が3,910床(偏差値58)である。介護保険施設は全国平均レベルをやや下回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルを上回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、6,945人(75歳以上1,000人当たりの偏差値70)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを大きく上回る。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設48、特別養護老人ホーム47、介護療養型医療施設51、有料老人ホーム44、軽費ホーム50、グループホーム62、サ高住67である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値58と多く、在宅療養支援病院は偏差値65と多い。また、訪問看護ステーションは偏差値44と少ない。介護職員(在宅)の合計は、625人(75歳以上1,000人当たりの偏差値42)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数は-23%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

(福山・府中医療圏) 2. 推移

【人口と医療需要】

福山・府中医療圏の総人口は、2005年515,865人が、2015年に514,097人と1%未満減少し、2025年の人口が505,770人と予測され、2005年→2025年の間に2%程度の減少が予測されている。

医療の需要（医療費ベース）は、2005年から2015年に12%増加し、2015年から2025年にかけて6%程度の増加が予測される。

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

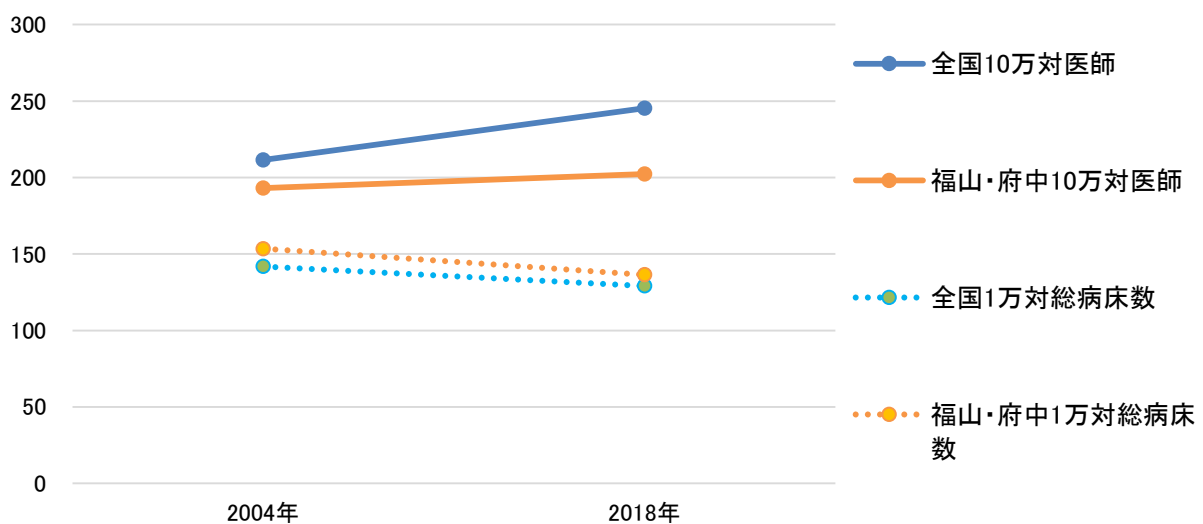
2004年の病院数が53(人口10万人当たり10.3病院(全国平均7.1)偏差値58)であったが、2018年に46(人口10万人当たり8.9病院(全国平均6.6)偏差値56)となり、14年間で7病院が減少した。

2004年の診療所数が358(人口10万人当たり69診療所(全国平均76)偏差値47)であったが、2018年に383(人口10万人当たり74診療所(全国平均80)偏差値47)と、25診療所が増加した。

2004年の総病床数が7,920床(人口1万人当たり154(全国平均142)偏差値52)であったが、2018年に7,016床(人口1万人当たり136(全国平均129)偏差値51)と、904床の減少、率にして11%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。

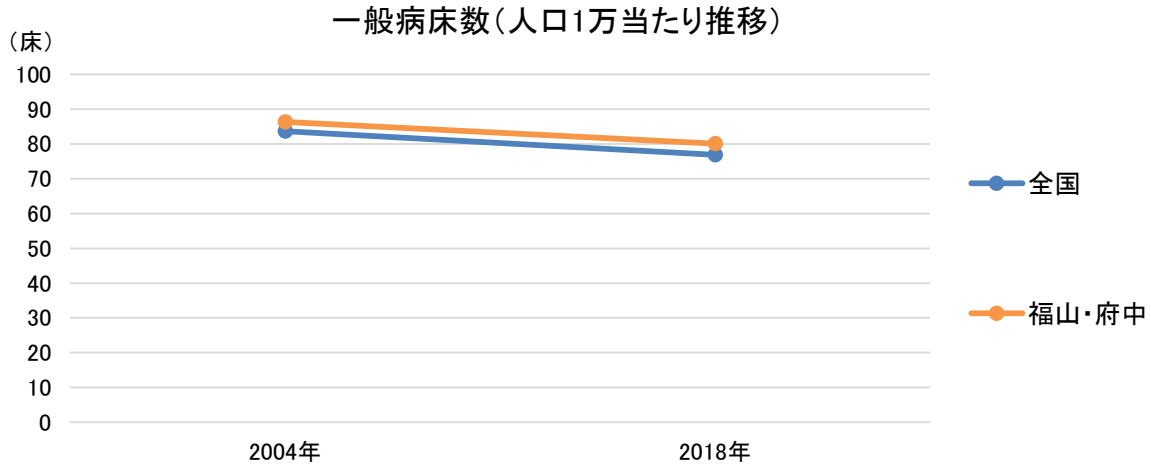
2004年には病院と診療所合わせての総医師数が996人(人口10万人当たり193人(全国平均212人)偏差値48)であったが、2018年に1,040人(人口10万人当たり202人(全国平均245人)偏差値45)と、44人の増加、率にして4%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。

人口当たり医師数・総病床数の推移



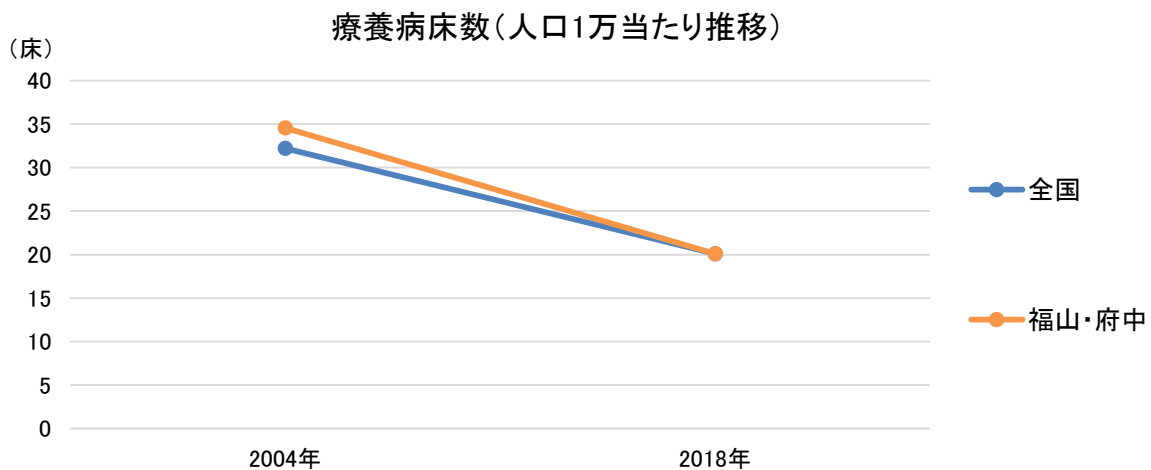
【一般病床の推移】

2004年の一般病床(病院+診療所)が4,455床(人口1万人当たり86(全国平均84)偏差値51)であったが、2018年に4,119床(人口1万人当たり80(全国平均77)偏差値51)と、336床の減少、率にして8%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。



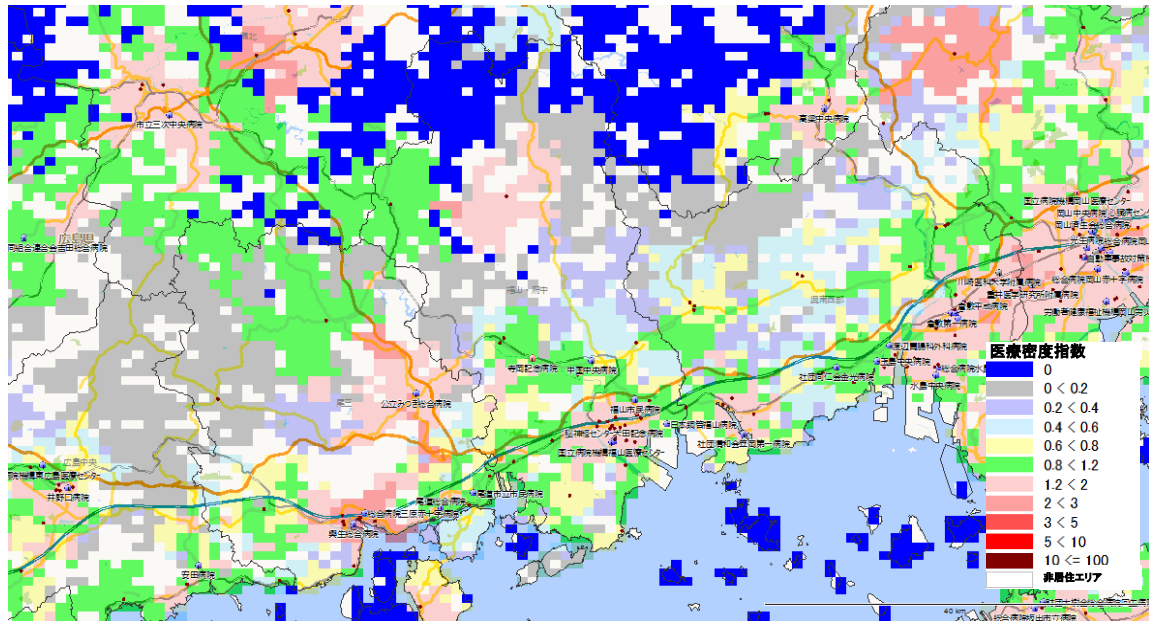
【療養病床の推移】

2004年の療養病床(病院+診療所)が1,778床(75歳以上1,000人当たり35(全国平均32)偏差値51)であったが、2018年に1,387床(75歳以上1,000人当たり20(全国平均20)偏差値50)と、391床の減少、率にして22%の減少(全国平均12%の減少)が見られた。



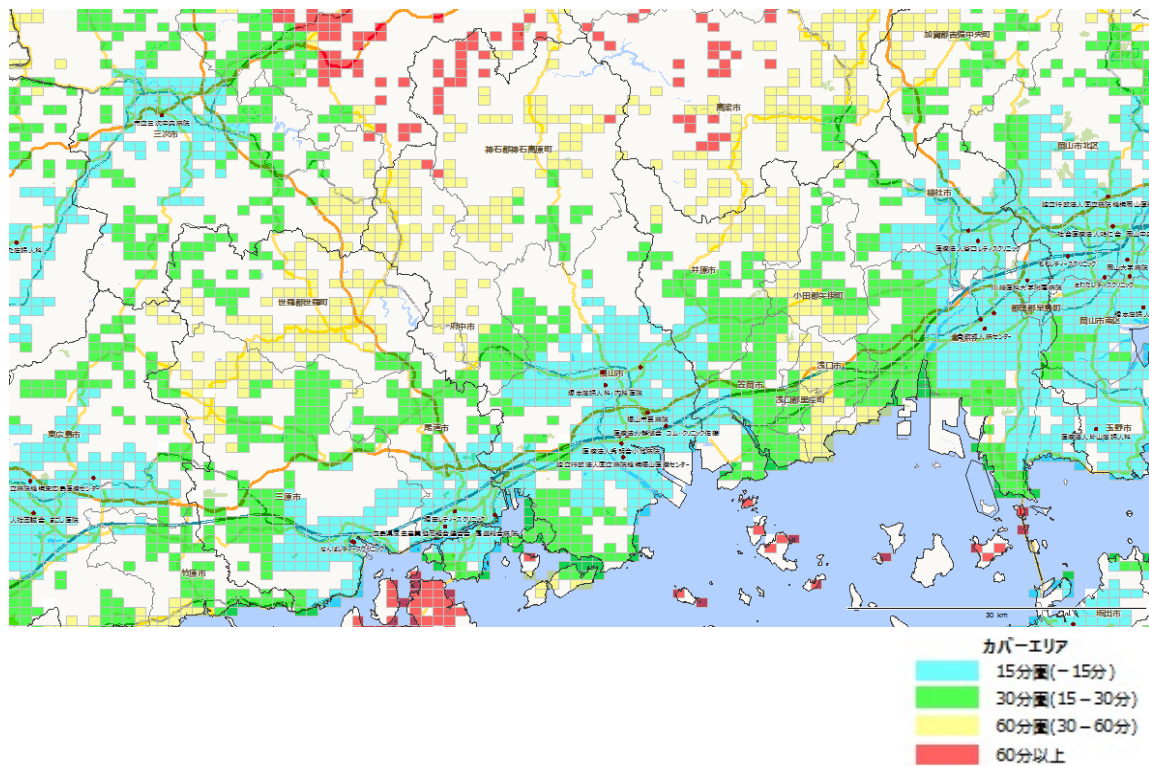
(福山・府中医療圏) 3. 医療密度・周産期カバーエリア

図表34-6-1 急性期医療密度指数マップ



図表34-6-2 分娩医療機関への所用運転時間（カバーエリア）

※全国1km²メッシュから最寄りの分娩取扱医療機関（病院と有床診療所）への運転時間を計算し、1km²メッシュの出生数との加重平均を用いて、市町村の平均運転時間を集計したもの（「地域の医療提供体制の現状 - 都道府県別・二次医療圏別データ集 - (2017年度版) 序章参照（日医総研WP no. 400）」）

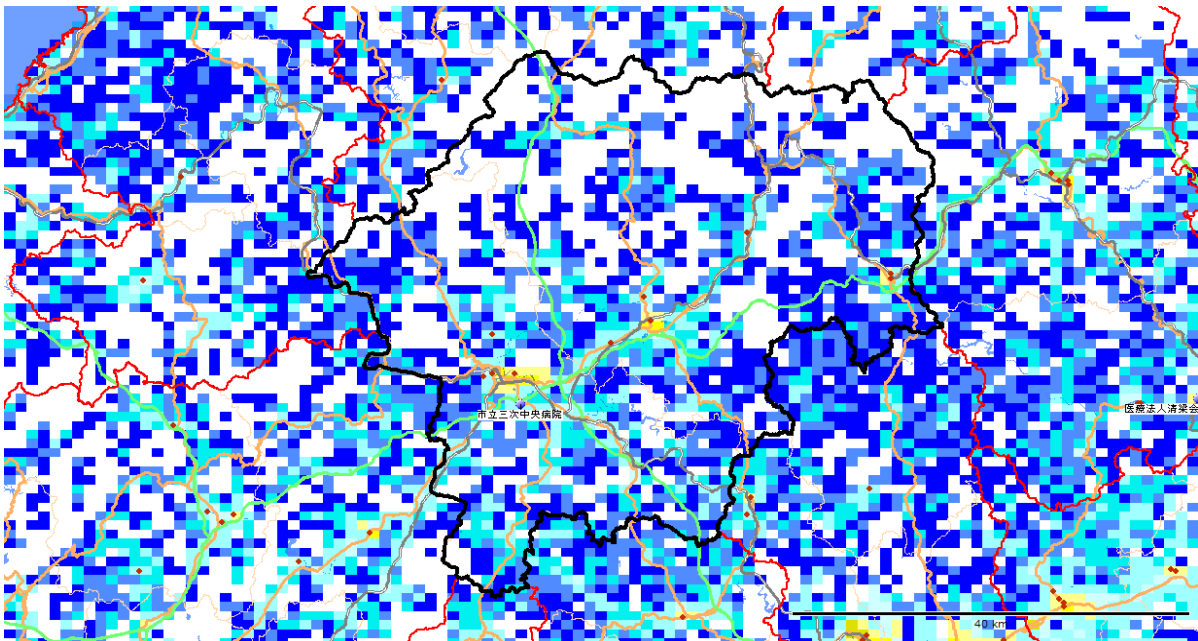


34-7. びほく 備北医療圏

構成市区町村 [三次市](#) [庄原市](#)

※日本医師会JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能
<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

人口分布(1km²区画単位)



1km²区画(1km²メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く(10,000人/km²以上)、黄色系統は中間レベル(1,000~10,000人/km²)、青色系統は人口が少ない(1,000人/km²未満)。白色は非居住地。
 出所: 国勢調査(平成22年、総務省)地図情報GIS Market Analyzer ver. 3.7 地図 PAREAシリーズ

区画内人口(1平方キロ)



DPC病院



(備北医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 備北(三次市)は、総人口約91千人(2015年)、面積2,025km²、人口密度は45人/km²の過疎地域型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 備北の総人口は2025年に79千人へと減少し(2015年比-13%)、2040年に63千人へと減少する(2025年比-20%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の20千人が、2025年にかけて21千人へと増加し(2015年比+5%)、2040年には19千人へと減少する(2025年比-10%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 備北の一人当たり医療費(国保)は426千円(偏差値66)、介護給付費は342千円(偏差値76)であり、医療費、介護給付費ともに非常に高い。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 備北の一人当たり急性期医療密度指数は1.13、一人当たり慢性期医療密度指数は1.59で、急性期の医療は全国平均レベルであるが、慢性期の医療はかなり余裕がある。

*医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が49(病院医師数49、診療所医師数50)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数ともにほぼ全国平均レベルである。総看護師数の偏差値は61と多い。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は58で、一般病床は多い。全身麻酔数の偏差値は52と全国平均レベルである。備北には、年間全身麻酔件数が1000例以上の市立三次中央病院(Ⅲ群)がある。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は79と療養病床数は非常に多い。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値50と全国平均レベルであり、回復期病床数は偏差値48と全国平均レベルである。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は50で精神病床数は全国平均レベルである。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は60で診療所数は多い。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 備北の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、2,022人(75歳以上1,000人当たりの偏差値48)と全国平均レベルである。そのうち、介護保険施設の定員が1,459床(偏差値59)、高齢者住宅等が563床(偏差値40)である。介護保険施設は全国平均レベルを上回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルを下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、1,797人(75歳以上1,000人当たりの偏差値60)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設54、特別養護老人ホーム58、介護療養型医療施設53、有料老人ホーム39、軽費ホーム69、グループホーム49、サ高住39である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値50と全国平均レベルであり、在宅療養支援病院は偏差値44と少ない。また、訪問看護ステーションは偏差値39と少ない。介護職員(在宅)の合計は、150人(75歳以上1,000人当たりの偏差値39)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数は+14%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でやや過剰ぎみである。

(備北医療圏) 2. 推移

【人口と医療需要】

備北医療圏の総人口は、2005年102,463人が、2015年に90,615人と12%減少し、2025年の人口が78,905人と予測され、2005年→2025年の間に23%程度の減少が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年に4%減少し、2015年から2025年にかけて6%程度の減少が予測される。

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

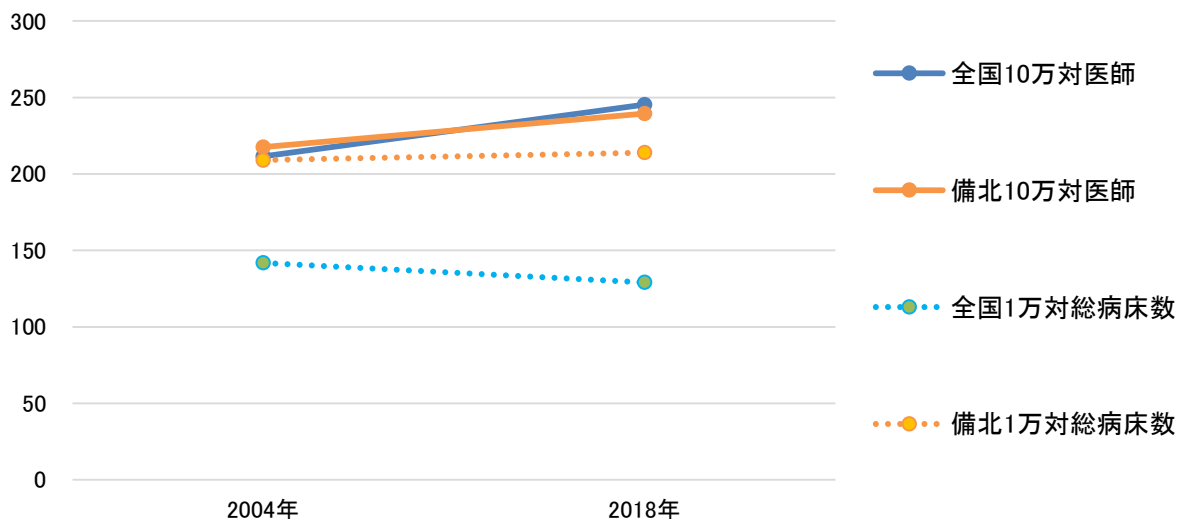
2004年の病院数が10(人口10万人当たり9.8病院(全国平均7.1)偏差値57)であったが、2018年に10(人口10万人当たり11病院(全国平均6.6)偏差値61)となり、14年間で増減がなかった。

2004年の診療所数が98(人口10万人当たり96診療所(全国平均76)偏差値60)であったが、2018年に90(人口10万人当たり99診療所(全国平均80)偏差値60)と、8診療所が減少した。

2004年の総病床数が2,142床(人口1万人当たり209(全国平均142)偏差値62)であったが、2018年に1,939床(人口1万人当たり214(全国平均129)偏差値66)と、203床の減少、率にして9%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。

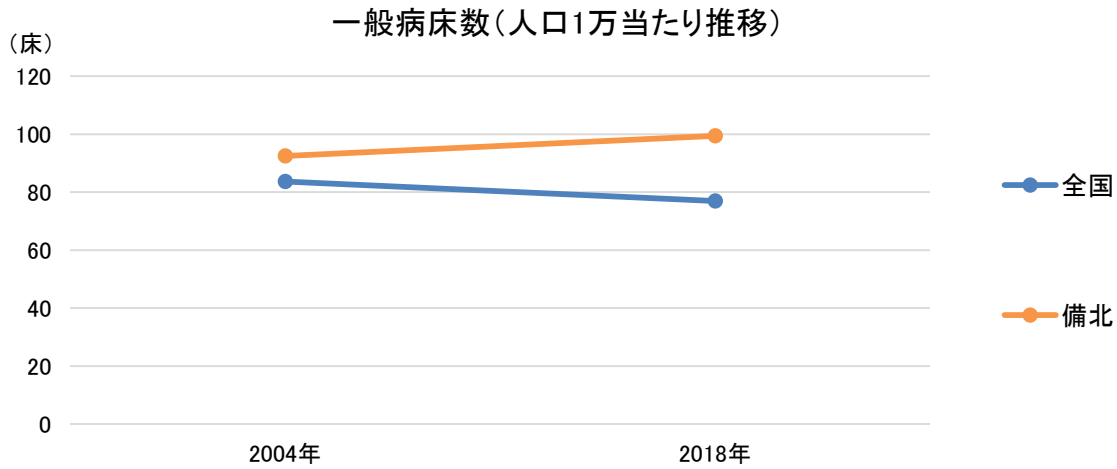
2004年には病院と診療所合わせての総医師数が223人(人口10万人当たり218人(全国平均212人)偏差値51)であったが、2018年に217人(人口10万人当たり239人(全国平均245人)偏差値49)と、6人の減少、率にして3%の減少(全国平均15%の増加)が見られた。

人口当たり医師数・総病床数の推移



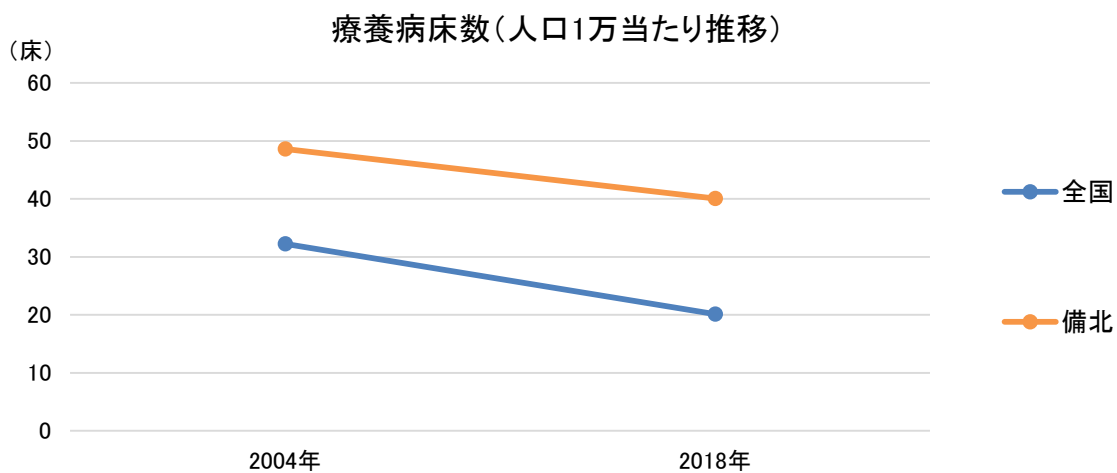
【一般病床の推移】

2004年の一般病床(病院+診療所)が947床(人口1万人当たり92(全国平均84)偏差値53)であったが、2018年に901床(人口1万人当たり99(全国平均77)偏差値59)と、46床の減少、率にして5%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。



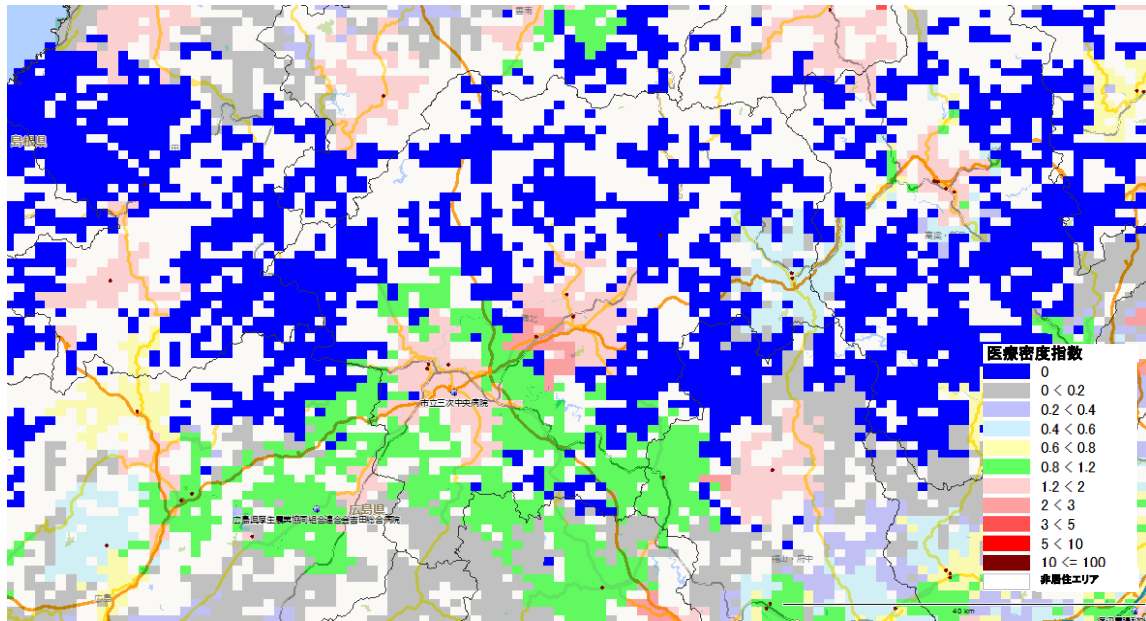
【療養病床の推移】

2004年の療養病床(病院+診療所)が910床(75歳以上1,000人当たり49(全国平均32)偏差値59)であったが、2018年に801床(75歳以上1,000人当たり40(全国平均20)偏差値68)と、109床の減少、率にして12%の減少(全国平均12%の減少)が見られた。



(備北医療圏) 3. 医療密度・周産期カバーエリア

図表34-7-1 急性期医療密度指数マップ



図表34-7-2 分娩医療機関への所用運転時間(カバーエリア)

※全国1km²メッシュから最寄りの分娩取扱医療機関(病院と有床診療所)への運転時間を計算し、1km²メッシュの出生数との加重平均を用いて、市町村の平均運転時間を集計したもの(「地域の医療提供体制の現状 - 都道府県別・二次医療圏別データ集 - (2017年度版) 序章参照(日医総研WP no. 400))

